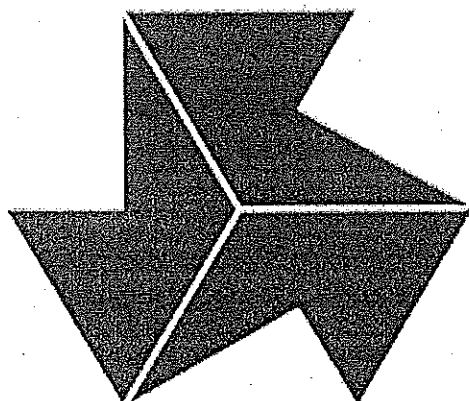


滋賀県高体連要覧

令和6年度



滋賀県高等学校体育連盟

目 次

高体連の歌	1
滋賀県高等学校体育連盟名簿	2~7
役員、理事一覧、専門部長・委員長・副委員長 各委員会、加盟校学校長および評議員	
滋賀県高等学校体育連盟規約	8~10
総務委員会規程	11
競技委員会規程	12
選手強化対策委員会規程	13
調査研究委員会規程	14
拡大委員会規程	15
滋賀県高等学校体育連盟積立金会計規程	16
滋賀県高等学校体育連盟表彰規程・内規・推薦書(要覧1)	17~18
// 功労者表彰規程・内規・推薦書(要覧2)	19~20
// 指導者奨励賞表彰規程・内規・推薦書(要覧3)	21~22
// 旅費規程・内規	23
大会競技役員旅費支給要項・精算書(要覧4)	24~26
大会開催補助金交付要綱	27~28
専門部収支予算書(要覧5)・決算書(要覧6)	29~30
大会予想(要覧7)	31
大会収支決算書(要覧8)	32
滋賀県高等学校体育連盟事故報告書(要覧9)	33
全国高等学校総合体育大会選手派遣補助金交付要綱	35
近畿高等学校体育大会選手派遣補助金交付要項	36~37
全国・近畿高等学校体育大会器具運搬費補助金要項	38~39
全国高等学校総合体育大会選手派遣事業報告書(出場校作成用)(要覧10~12)	40~43
近畿高等学校体育大会選手派遣実績事業報告書(専門部作成用)(要覧13)	44
// 実績報告書・事業報告書・収支決算書(出場校作成用)(要覧14~16)	45~48
滋賀県スポーツ振興補助金交付要項(専門部強化補助金交付要綱)	49~51
// 交付申請書(要覧21)・事業計画書(要覧22-1)・収支予算書(要覧22-2)	52~57
// 実績報告書(要覧23)・事業報告書(24-1)・収支決算書(24-2)	
// 旅費支出明細(要覧25)・領収書添付用紙(要覧26)	58~67
近畿高等学校体育連盟種目別大会年度別開催地順序表	68
報道各社一覧	69
【別冊】滋賀県高等学校体育連盟要覧[資料編]	70~86

※ 滋賀県高体連ホームページにアップしています。様式もホームページよりダウンロードが可能です。

高体連の歌

作詞 増田 文雄

作曲 小松 清

深刺と $\text{♩} = 104$
mf

あけ ゆく おお ぞら あか ねの あさの ひ あー

おぐ ここ る は さや か には れ て と *mf*

も にか た く み きー た ー え ゆ く いー *f*

の ちは つ ら つ い き あ が る *f*

と も よ い ざ つ ど い な ん *ff*

こ う た い れん こ う た い れん わ れ ら わ か し *f*

高体連の歌

作詞 増田文雄
 作曲 小松清

一 あけゆく大空
 あかねの朝の陽
 仰ぐころは さやかに晴れて
 ともに肩組み 鍛えゆく
 生命はつらつ意気あがる
 友よいざ つどいなん
 高体連 高体連 われら若し

二 さみどり 萌えたつ
 希望の この土
 しかと踏みしめ 大気に伸ばす
 この手 この脚 躍進の
 ちから溢れて 血はおどる
 友よいざ つどいなん
 高体連 高体連 われら若し

三 世紀のひかりは
 野山に 波路に
 うた声たかく こだまどひびき
 たゆまぬ努力 技を練る
 行手ほまれの花かおる
 友よいざ つどいなん
 高体連 高体連 われら若し

(昭和三十一年七月十五日制定)

令和6年度
滋賀県高等学校体育連盟役員

役職名	氏名	勤務先
会長	南 雄 志	愛 知
副会長	大 森 文 子	伊 香
"	奥 村 恭 代	甲 南
"	岸 智 昭	八 幡 工 業
監 事	杉 原 真 也	守 山 北
"	北 川 幸 希	八 日 市
顧 問	門 久 仁 裕	ス ポ ー ツ 協 会
"	岸 本 英 幸	高 体 連
"	長 谷 川 哲 朗	びわこ学院大学
"	安 井 和 治	県 教 委
"	兼 房 一 浩	虎 姫

役職名	氏名	勤務先
参 与	中 塚 薫	蠶 話
"	竹 林 幸 祥	比 叡 山
"	小 林 昌 彦	滋 賀 短 期 大 学 附 属
"	伊 東 洋	近 江
"	坂 井 宏 安	彦 根 総 合
"	近 藤 芳 治	滋 賀 学 園
"	岩 崎 成 寿	立 命 館 守 山
"	高 萩 康 全	綾 羽
"	富 岡 無 空	幸 福 の 科 学 学 園 関 西
"	池 田 実	司 学 館 (通)
"	井 東 弘	MIHO美学院

役職名	氏名	勤務先
理 事 長	山 田 收 彦	県 教 委
副 理 事 長	北 居 雅	守 山 北
"	山 口 省 吾	八 日 市 南
"	藤 田 武 志	水 口 東
"	三 村 誠 一	大 津 商 業
常 務 理 事	中 村 豊	県 教 委
"	七 里 晃 弘 (湖 西)	高 島
"	志 垣 健 一 (大 津)	滋 賀 短 期 大 学 附 属
"	脇 阪 智 也 (湖 東)	滋 賀 学 園

役職名	氏名	勤務先
常 務 理 事	渡 部 彬 (彦 根)	彦 根 東
"	菖 蒲 池 美 子 (湖 北)	米 原
"	奥 川 卓 (湖 南)	綾 羽
"	大 崎 智 (球 内)	信 楽
"	大 久 保 雅 生 (球 外)	八 日 市
"	若 林 良 (球 他 内)	彦 根 翔 西 館
"	杉 原 茂 一 (球 他 外)	栗 東
"	堀 口 節 朗 (定 通)	大 津 清 陵 (昼)

高体連事務局

事 務 局 長	岸 本 英 幸	事 務 局
事 務 局 員	朝 香 早 織	事 務 局

令和6年度 理事一覧表

専門部理事

	専門部名	氏名	勤務先
1	陸上競技	八木 佐知男	彦根翔西館
2	水泳	國重 幸裕	草津東
3	体操	池松 和彦	草津東
4	ソフトテニス	藤居 裕士	長浜北
5	卓球	松村 大介	虎姫
6	バスケットボール	望月 健司	八幡工業
7	バレーボール	大崎 智	信楽
8	バドミントン	高山 裕行	能登川
9	アメリカンフットボール	西村 嘉容	長浜農業
10	サッカー	前田 健	虎姫
11	ラグビー	森 祥太郎	膳所
12	ソフトボール	中嶋 佐智美	滋賀学園
13	ハンドボール	清水 速人	彦根工業
14	剣道	岸下 清登	八幡商業
15	柔道	林 正樹	近江兄弟社
16	弓道	浦川 真二	滋賀学園
17	アーチェリー	溪 充	草津東
18	相撲	橋本 拓実	長浜北星
19	ローイング	山崎 有紀	彦根東
20	ヨット	安田 真之助	膳所
21	登山	高間 一	守山
22	スキー	岩本 和博	高島
23	ウェイトリフティング	西沢 悟	安曇川

	専門部名	氏名	勤務先
24	自転車	金田 明一郎	瀬田工業
25	馬術	大場 基	膳所
26	ホッケー	北川 幸生	伊吹
27	レスリング	田中 秀人	栗東
28	テニス	砂田 知也	東大津
29	フェンシング	田部井 崇博	玉川
30	ボクシング	國領 紀宏	能登川
31	空手道	福井 宏明	滋賀学園
32	カヌー	池下 直輝	八日市南
33	ライフル射撃	梅田 貴文	水口
34	スケート	山田 幸伸	光泉カトリック
35	スポーツ拳法	今井 啓二	大津商業
36	野球	大久保 雅生	八日市
37	定通部	玉置 大治朗	大津清陵(馬)
38	なぎなた	若林 良	彦根翔西館

地域理事

	地域	氏名	勤務先
1	湖西	七里 晃弘	高島
2	大津	志垣 健一	滋賀短期大学附属
3	湖東	脇阪 智也	滋賀学園
4	彦根	渡部 彬	彦根東
5	湖北	菖蒲池 美子	米原
6	湖南	奥川 卓	綾羽

令和6年度 専門部長・委員長・副委員長

No.	専門部名	役職名	氏名	勤務先
1	陸上競技	部長	太田 義人	水口 東
		委員長	八木 佐知男	彦根翔西館
		副委員長	澤 知 寿	長 浜 北
2	水泳	部長	平井 忠美	草津 東
		委員長	國重 幸裕	草津 東
		副委員長	中井 良輔	玉 川
3	体操	部長	奥村 俊文	栗 東
		委員長	池松 和彦	草津 東
		副委員長	寺田 有佑	栗 東
4	ソフトテニス	部長	北村 登志子	長 浜 北
		委員長	藤居 裕士	長 浜 北
		副委員長	川嶋 克典	八幡工業
5	卓球	部長	北川 公洋	草津
		委員長	松村 大介	虎 姫
		副委員長	武友 陽平	石 山
6	バスケットボール	部長	箕浦 博樹	八 幡
		委員長	望月 健司	八幡工業
		副委員長	戸島 康博	国際情報
7	バレーボール	部長	伊吹 直樹	彦根 東
		委員長	大崎 智	信 楽
		副委員長	元 持 斉	草津 東
8	バドミントン	部長	小田 隆司	大 津
		委員長	高山 裕行	能登川
		副委員長	上田 晋也	彦根総合
9	アメリカンフットボール	部長	不破 徹也	長 浜 農業
		委員長	西村 嘉容	長 浜 農業
		副委員長	東 前 圭	立命館守山
10	サッカー	部長	一色 重紀	米 原
		委員長	前田 健	虎 姫
		副委員長	吉原 翔	北 大 津
11	ラグビー	部長	近藤 敏夫	石 山
		委員長	森 祥太郎	膳 所
		副委員長	松 永 陸	瀬田工業
12	ソフトボール	部長	秋永 尚哉	大津商業
		委員長	中嶋 佐智美	滋賀学園
		副委員長	栗田 優子	大津商業
13	ハンドボール	部長	大久保 貴生	彦根工業
		委員長	清水 速人	彦根工業
		副委員長	横山 大介	彦根翔西館
14	剣道	部長	嬉野 公人	膳 所
		委員長	岸下 清登	八幡商業
		副委員長	花房 聡	虎 姫
15	柔道	部長	春日井 敏之	近江兄弟社
		委員長	林 正 樹	近江兄弟社
		副委員長	生駒 有史	近 江
16	弓道	部長	吉嶋 幸子	甲 西
		委員長	浦川 真二	滋賀学園
		副委員長	井上 義満	東 大 津
17	アーチェリー	部長	柏原 淳	北 大 津
		委員長	溪 充	草津 東
		副委員長	仲田 善裕	草津 東
18	相撲	部長	中澤 成行	長 浜 北
		委員長	橋本 拓実	長 浜 北
		副委員長	松村 友二	八幡商業
19	ローイング	部長	山崎 有紀	彦根 東
		委員長	山崎 有紀	彦根 東
		副委員長	押谷 朋成	瀬田工業

No.	専門部名	役職名	氏名	勤務先
20	ヨット	部長	武原 正樹	野 洲
		委員長	安田 真之助	膳 所
		副委員長	山下 員徳	膳 所
21	登山	部長	横井 和暢	堅 田
		委員長	高 間 一	守 山
		副委員長	宮崎 豊	水口 東
22	スキー	部長	瀬戸川 昌之	高 島
		委員長	岩本 和博	高 島
		副委員長	中原 あかり	安 曇 川
23	ウエトリフティング	部長	大道 敏喜雄	安 曇 川
		委員長	西 沢 悟	安 曇 川
		副委員長	高橋 一平	堅 田
24	自転車	部長	横尾 浩	瀬田工業
		委員長	金田 明一郎	瀬田工業
25	馬術	部長	速水 宣胤	湖 南 農業
		委員長	杉原 茂一	栗 東
		副委員長	廣田 翔太郎	長 浜 農業
26	ホッケー	部長	松本 忠和	伊 吹
		委員長	北川 幸生	伊 吹
		副委員長	椿 裕 規	伊 吹
27	レスリング	部長	神崎 善明	日 野
		委員長	田中 秀人	栗 東
		副委員長	瀧下 広幸	栗 東
28	テニス	部長	田中 俊夫	信 楽
		委員長	砂田 知也	東 大 津
		副委員長	辻 雅 宏	長 浜 北
29	フェンシング	部長	望月 美希	玉 川
		委員長	田部井 崇博	玉 川
		副委員長	矢幡 侑菜	石 山
30	ボクシング	部長	横田 衛	能登川
		委員長	國領 紀宏	能登川
31	空手道	部長	近藤 芳治	滋賀学園
		委員長	福井 宏明	滋賀学園
		副委員長	横江 宣哉	玉 川
32	カヌー	部長	村中 隆之	八日市南
		委員長	池下 直輝	八日市南
		副委員長	村田 美咲	八幡商業
33	ライフル射撃	部長	関司 裕子	水 口
		委員長	梅田 貴文	水 口
		副委員長	宇佐美 明広	滋賀学園
34	スケート	部長	桂 幸 生	光泉カトリック
		委員長	山田 幸伸	光泉カトリック
		副委員長	小宮山 敦子	草 津
35	スポーツ拳法	部長	中村 公治	国際情報
		委員長	今井 啓二	大津商業
		副委員長	馬場 光仁	東 大 津
36	野球 (軟式)	部長	大久保 雅生	八日市南
		委員長	上林 裕樹	大 津
		副委員長	雲林院 寿文	比 叡 山
37	定通部	部長	饗庭 庄城	大津清陵
		委員長	堀口 節朗	大津清陵(昼)
		副委員長	加藤 健一	大津清陵(通)
38	なぎなた	部長	遠藤 彰	石 部
		委員長	若林 良	彦根翔西館
		副委員長	奥山 裕樹	彦根翔西館

令和6年度 各委員会

総務委員会

役職名	氏名	勤務地
部長	南 雄 志	愛 知
委員長	北 居 雅	守 山 北
副委員長	清 水 篤	米 原
委員	中 原 洋 明	長 浜 北 星

役職名	氏名	勤務地
委員	越 後 啓 二 良	湖 南 農 業
"	牛 場 哲 郎	草 津 東
"	辻 本 唯 晃	彦 根 工 業
"	大 橋 澄 枝	愛 知

競技委員会

役職名	氏名	勤務地
部長	岸 智 昭	八 幡 工 業
委員長	山 口 省 吾	八 日 市 南
副委員長	馬 場 義 人	高 島
委員	新 谷 憲 康	米 原
"	武 田 圭 太	長 浜 北
"		

役職名	氏名	勤務地
委員	水 口 祥 希 (湖 西)	安 曇 川
"	新 田 洋 也 (大 津)	幸 福 の 科 学 学 園 関 西
"	中 澤 文 雄 (湖 東)	八 日 市 南
"	今 井 美 紀 (彦 根)	彦 根 東
"	伊 吹 嵐 太 郎 (湖 北)	伊 吹
"	仲 田 愛 美 (湖 南)	龔 話

選手強化対策委員会

役職名	氏名	勤務地
部長	大 森 文 子	伊 香
委員長	藤 田 武 志	水 口 東
副委員長	中 井 良 輔	玉 川
委員	西 森 勇 樹	草 津
"	亀 田 智 範	光 泉 カ ト リ ッ ク

役職名	氏名	勤務地
委員	西 村 育 浩	河 瀬
"	乙 須 一 心	滋 賀 短 期 大 附
"	上 田 恭 平	石 山
"	上 田 勝 也	大 津 商 業

調査研究委員会

役職名	氏名	勤務地
部長	奥 村 恭 代	甲 南
委員長	三 村 誠 一	大 津 商 業
副委員長	押 谷 朋 成	瀬 田 工 業
委員	川 瀬 千 津	虎 姫
"	久 田 淳 也	高 島

役職名	氏名	勤務地
委員	吉 武 美 保	彦 根 東
"	松 本 空	国 際 情 報
"	山 本 聡	信 楽

令和6年度 加盟校学校長及び評議員

	学 校 名	所 在 地		電 話	F A X	校 長 名	評 議 員 名
1	膳 所	520-0815	大津市膳所二丁目11-1	077-523-2304	526-1086	嬉野 公人	高田 留治
2	堅 田	520-0242	大津市本堅田三丁目9-1	077-572-1206	573-7075	横井 和暢	寺町 直記
3	北 大 津	520-0246	大津市仰木の里一丁目23-1	077-573-5881	573-7076	柏原 淳	石川 雄大
4	東 大 津	520-2122	大津市瀬田南大萱町1732-2	077-545-8025	543-4874	馬場 光仁	井上 義満
5	大 津	520-0802	大津市馬場一丁目1-1	077-523-0386	526-1772	小田 隆司	谷 俊希
6	石 山	520-0844	大津市国分一丁目15-1	077-537-3371	537-6748	近藤 敏夫	田原 稜史
7	瀬田工業	520-2132	大津市神領三丁目18-1	077-545-2510	543-4872	横尾 浩	大洞 典生
8	大津商業	520-0037	大津市御陵町2-1	077-524-4284	526-1802	秋永 尚哉	杉本 祐紀
9	彦根東	522-0061	彦根市金亀町4-7	0749-22-4800	26-3879	伊吹 直樹	渡部 彬
10	彦根翔西館	522-0033	彦根市芹川町580	0749-23-1491	26-3615	江竜 康成	池田 和弘
11	彦根工業	522-0222	彦根市南川瀬町1310	0749-28-2201	28-2936	大久保 貴生	小林 哲也
12	河 瀬	522-0223	彦根市川瀬馬場町975	0749-25-2200	28-2935	田濃 良和	葛川 星斗
13	長 浜 北	526-0847	長浜市平方町270	0749-62-0238	65-1341	北村 登志子	中村 新一
14	長 浜 農 業	526-0824	長浜市名越町600	0749-62-0876	65-1343	不破 徹也	安田 達弥
15	長 浜 北 星	526-0036	長浜市地福寺町3-72	0749-62-3370	65-1344	中澤 成行	辻 雅宏
16	八 幡	523-0031	近江八幡市堀上町105	0748-33-2302	32-4051	箕浦 博樹	三上 修二
17	八 幡 工 業	523-0816	近江八幡市西庄町5	0748-37-7227	37-1174	岸 智昭	岩崎 昭憲
18	八 幡 商 業	523-0895	近江八幡市宇津呂町10	0748-32-2072	32-4052	松村 友二	嶂南 慎二郎
19	八 日 市	527-0022	東近江市八日市之上町1-25	0748-22-1515	23-2191	北川 幸希	笠井 隆雅
20	八 日 市 南	527-0032	東近江市春日町1-15	0748-22-1513	23-2151	村中 隆之	中澤 文雄
21	玉 川	525-0058	草津市野路東三丁目2-1	077-565-1581	562-6040	望月 美希	水谷 貴一
22	草 津 東	525-0025	草津市西沢川二丁目8-65	077-564-4681	562-1601	平井 忠美	高木 亮典
23	草 津	525-0051	草津市木川町955-1	077-562-1220	562-5536	北川 公洋	小宮山 敦子
24	湖 南 農 業	525-0036	草津市草津町1839	077-564-5255	562-1186	速水 宣胤	田村 拓己
25	守 山	524-0022	守山市守山三丁目12-34	077-582-2289	582-6514	明吉 正知	安本 匡志
26	守 山 北	524-0004	守山市笠原町1263	077-585-0431	585-5584	杉原 真也	林 拓矢
27	栗 東	520-3016	栗東市小野618	077-553-3350	554-1537	奥村 俊文	田中 秀人
28	国際情報	520-3016	栗東市小野36	077-554-0600	554-1539	中村 公治	冨田 雅一
29	野 洲	520-2341	野洲市行畑二丁目9-1	077-587-0059	587-5595	武原 正樹	中村 大
30	甲 西	520-3231	湖南市針1	0748-72-3611	72-5549	吉嶋 幸子	梶川 由美子
31	水 口	528-0022	甲賀市水口町梅ヶ丘3-1	0748-62-4104	62-6967	園司 裕子	南 睦志
32	水 口 東	528-0073	甲賀市水口町古城が丘7-1	0748-62-6745	63-0823	太田 義人	富永 瞳美
33	甲 南	520-3301	甲賀市甲南町寺庄427	0748-86-4145	86-4983	奥村 恭代	廣濱 孝幸
34	信 楽	529-1851	甲賀市信楽町長野317-1	0748-82-0167	82-2124	田中 俊夫	杉村 大樹

	学 校 名	所 在 地		電 話	F A X	校 長 名	評 議 員 名
35	日 野	529-1642	蒲生郡日野町上野田150	0748-52-1200	53-1512	神 崎 善 明	安 田 崇 幸
36	能 登 川	521-1235	東近江市伊庭13	0748-42-1305	42-5241	横 田 衛	野 村 大 地
37	愛 知	529-1331	愛知郡愛荘町愛知川102	0749-42-2150	42-6172	南 雄 志	村 西 博
38	米 原	521-0092	米原市西円寺1200	0749-52-1601	52-1603	一 色 重 紀	菖 蒲 池 美 子
39	伊 吹	521-0226	米原市朝日302	0749-55-2350	55-2778	松 本 忠 和	北 川 幸 生
40	虎 姫	529-0112	長浜市宮部町2410	0749-73-3055	73-2967	兼 房 一 浩	塚 田 豊
41	伊 香	529-0425	長浜市木之本町木之本251	0749-82-4141	82-4477	大 森 文 子	津 田 久 美
42	高 島	520-1621	高島市今津町今津1936	0740-22-2002	22-4837	瀬 戸 川 昌 之	清 水 美 緒
43	安 曇 川	520-1212	高島市安曇川町西万木1168	0740-32-0477	32-3383	大 道 敏 喜 雄	近 藤 秀 紀
44	石 部	520-3112	湖南市丸山二丁目3-1	0748-77-0311	77-0316	遠 藤 彰	村 元 研 二
45	壘 話	520-3014	栗東市川辺664	077-552-1380	554-1538	中 塚 薫	仲 田 愛 美
46	長浜北星高等養護	526-0036	長浜市地福寺町3-72	0749-62-0920	62-0940	中 澤 成 行	森 居 大 樹
47	甲南高等養護	520-3301	甲賀市甲南町寺庄427	0748-86-8401	86-4983	奥 村 恭 代	筒 居 正 幸
48	愛知高等養護	529-1331	愛知郡愛荘町愛知川102	0749-49-4000	49-4001	南 雄 志	小 西 優 輝
49	北大津高等養護	520-0246	大津市仰木の里一丁目23-1	077-574-7900	574-7891	柏 原 淳	足 立 健 太
50	瀬田工業(定)	520-2132	大津市神領三丁目18-1	077-545-5315	544-4010	横 尾 浩	西 津 龍 二
51	大津清陵(昼)	520-0867	大津市大平一丁目14-1	077-537-5075	537-6753		田 中 良
52	大津清陵(通)	520-0867	大津市大平一丁目14-1	077-537-5333	537-6753	饗 庭 庄 城	加 藤 健 一
53	大津清陵馬場分校	520-0802	大津市馬場一丁目1-1	077-523-0387	526-2091		玉 置 大 治 朗
54	彦根工業(定)	522-0222	彦根市南川瀬町1310	0749-28-2201	28-2936	大 久 保 貴 生	島 村 忠 男
55	長浜北星(定)	526-0036	長浜市地福寺町3-72	0749-62-3365	65-1344	中 澤 成 行	上 田 健 二
56	能登川(定)	521-1235	東近江市伊庭13	0748-42-1305	42-5241	横 田 衛	岩 田 未 玲
57	比 叡 山	520-0113	大津市坂本四丁目3-1	077-578-0091	579-3413	竹 林 幸 祥	門 間 裕 子
58	滋賀短期大学附属	520-0052	大津市朝日が丘一丁目18-1	077-522-3465	522-3651	小 林 昌 彦	志 垣 健 一
59	近 江	522-0002	彦根市松原町大黒前3511-1	0749-22-2323	24-6351	伊 東 洋	生 駒 有 史
60	彦根総合	522-0033	彦根市芹川町328	0749-26-0016	22-1510	坂 井 宏 安	上 田 晋 也
61	近江兄弟社	523-0851	近江八幡市市井町177	0748-32-3444	32-5316	春 日 井 敏 之	浅 居 正 信
62	滋賀学園	527-0003	東近江市建部北町520-1	0748-23-0858	23-6145	近 藤 芳 治	脇 阪 智 也
63	光泉カトリック	525-8566	草津市野路町178	077-564-5600	564-5136	桂 幸 生	山 田 幸 伸
64	立命館守山	524-8577	守山市三宅町250	077-582-8000	582-8038	岩 崎 成 寿	峯 松 健 太 朗
65	綾 羽	525-0025	草津市西沢川一丁目18-1	077-563-3435	565-5820	高 萩 康 全	奥 川 卓
66	幸福の科学学園関西	520-0248	大津市仰木の里東2-16-1	077-573-7774	573-7775	富 岡 無 空	春 木 ひ かり
67	綾羽(定・通)	525-0025	草津市西沢川一丁目18-1	077-563-3435	565-5820	高 萩 康 全	池ノ内 知子
68	司学館(通)	527-0026	東近江市八日市野々宮町2-30	0748-22-1176	20-5750	池 田 実	山 口 英 司
69	M I H O 美 学 院	529-1813	甲賀市信楽町畑369	0748-82-3435	82-3436	井 東 弘	一 原 悦 子

滋賀県高等学校体育連盟規約

第1章 名称および事務局

第1条 本連盟は滋賀県高等学校体育連盟と称する。

第2条 本連盟の事務局を滋賀県大津市京町四丁目1-1（滋賀県教育委員会事務局保健体育課内）に置く。

2 事務局には事務局長と事務局員をおく。

第2章 目的

第3条 本連盟は、県下高等学校等の体育運動を振興し、体力の向上を図り、スポーツ精神を涵養することを目的とする。

第3章 事業

第4条 本連盟は前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 各種競技大会を開催すること。
- (2) 各研究会、講習会を開催すること。
- (3) 体育運動指導奨励のため諸種の調査研究をすること。
- (4) その他、本連盟の目的達成に必要な事業を行なうこと。

第4章 組織

第5条 本連盟は、県下の高等学校等にあつて、本連盟に加盟した学校をもって組織する。

2 本連盟に専門部をおく。

第5章 役員

第6条 本連盟に次の役員をおく。

会 長	1 名	評 議 員	加盟校各 1 名
副 会 長	若干名	理 事	若干名
理 事 長	1 名	常務理事	若干名
専 門 部 部 長	若干名	監 事	2 名
専 門 部 委 員 長	若干名		

ただし、必要に応じて本連盟に副理事長、専門部副部長、専門部副委員長をおくことができる。

第7条 会長および副会長は評議員会において、これを推挙する。

2 会長は本連盟を代表し、本連盟事務を統轄する。

3 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。

第8条 評議員は、加盟高等学校等の代表教員をあて、本連盟の重要事項を審議する。

第9条 理事は、各専門部委員長もしくはそれに代わる者1名、各地域より1名、県教委事務局・会長委嘱若干名とし、本連盟事業の執行にあたる。

2 各地域は次の郡市とする。

湖西 高島市

大津 大津市

湖南 草津市・守山市・栗東市・野洲市・湖南市・甲賀市

湖東 近江八幡市・東近江市・蒲生郡・愛知郡・犬上郡

彦根 彦根市

湖北 長浜市・米原市

第10条 理事長は理事の互選とし、会長を補佐し会務を執行する。

2 副理事長は理事の互選とし、理事長を補佐する。

3 常務理事は理事の中より会長が委嘱し、本連盟の常務を処理する。

第11条 監事は評議員会の推せんにより会長が委嘱し、当会計を監査する。

第12条 専門部部長は加盟高等学校等校長もしくは副校長をこれにあて、会長が委嘱し、当該専門部を統轄する。

2 専門部副部長は加盟高等学校等校長、副校長もしくは教頭をこれにあて、会長が委嘱し、部長を補佐する。

3 専門部は本連盟により承認された各競技別部会および定通部会によって構成し、当該部会の運営と事業の執行にあたる。

4 専門部委員長は、各専門部の専門的事項を司り専門部部長を補佐する。

5 専門部副委員長は委員長を補佐する。

第13条 事務局長、事務局員は、庶務会計を司る。事務局長および事務局員は会長が委嘱する。

第14条 役員の任期は2か年とする。但し、再任は妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第15条 本連盟に顧問および参与を若干名おくことができる。

2 顧問、参与は評議員会の推薦により会長これを推挙し、本会の諮問にこたえる。

第6章 会 議

第16条 評議員会は、会長これを招集し、その議長を務め、次の事項を審議決定する。

(1) 予算、決算ならびに事業計画に関する件

(2) 役員の改選に関する件

(3) 規約の改正に関する件

(4) その他、会長の必要と認めた事項

2 評議員会の定足数は評議員総数の半数以上とし、出席者の過半数で議決する。

3 理事会は、会長これを招集し、その議長を務め、次の事項を司る。

(1) 事業の執行に関する件

(2) 評議員会より委任された事項

(3) その他、会長・理事長の必要と認めた事項

4 常務理事会は本連盟の主要事項を立案し、会務を処理する。

5 専門部部長会および専門部委員長会を必要に応じて開催することができる。

第7章 総務委員会

第17条 本連盟に総務委員会をおく。その細則は別にこれを定める。

第8章 競技委員会

第18条 本連盟に競技委員会をおく。その細則は別にこれを定める。

第9章 選手強化対策委員会

第19条 本連盟に選手強化対策委員会をおく。その細則は別にこれを定める。

第10章 調査研究委員会

第20条 本連盟に調査研究委員会をおく。その細則は別にこれを定める。

第11章 特別委員会

第21条 本連盟は必要に応じて特別委員会を設けることができる。

第12章 会計

第22条 本連盟の経費は加盟高等学校等の会費および補助金・寄付金・その他の収入をもってこれにあてる。

2 本連盟の会計は一般会計のほか、必要に応じて積立金会計を設けることができる。その細則は別にこれを定める。

第23条 本連盟の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第13章 補則

第24条 本連盟規約施行に必要な細部事項については、理事長がこれを定める。

第25条 本連盟は必要に応じ全国のおよび地域の体育団体の事業ならびに事務を管理する。

- 附 則
- 1 本規約は、昭和24年4月1日より施行する。
 - 2 昭和35年4月22日 部長制について一部改正
 - 3 昭和43年12月12日 常務理事について一部改正
 - 4 昭和49年12月22日 競技委員会・選手強化対策委員会規程および地区選出理事について一部改正
 - 5 昭和52年2月25日 副理事長・専門部副部長・専門部副委員長について一部改正
 - 6 昭和52年4月22日 総務委員会規程について一部改正
 - 7 昭和62年4月1日 事務局・理事および調査研究委員会について一部改正
 - 8 平成4年4月1日 事務局について一部改正
 - 9 平成8年12月6日 理事の定数について改正、および会議について一部改正
 - 10 平成17年3月11日 各地域の郡市について一部改正
 - 11 平成21年3月6日 組織について一部改正
 - 12 平成22年3月12日 会計について一部改正
 - 13 平成23年12月2日 各地域の郡市について一部改正
 - 14 平成26年4月1日 事務局および役員について一部改正
 - 15 平成27年4月1日 事務局および役員について一部改正
 - 16 平成28年4月1日 事務局について一部改正

総務委員会規程

第1条 滋賀県高等学校体育連盟規約第7章第17条に基づき総務委員会（以下「委員会」という）を設ける。

第2条 委員会は、次の事業を処理する。

- (1) 総合企画に関すること。
- (2) 広報に関する基本計画を作成すること。
- (3) 資料の収集、作成に関すること。
- (4) その他各前項に関する事業

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 評議員会において推薦された若干名の委員
- (2) 会長が常務理事のなかから指名する若干名の委員

第4条 委員長 1名 副委員長 1名

第5条 委員長および副委員長は委員の互選とし会長が委嘱する。

第6条 委員長は委員会を代表し委員会の会務を処理する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第8条 委員および役員の任期は2か年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会が事業を処理するにあたっては、理事会にはかり、評議員会の承認を受ける。

第10条 委員会は滋賀県高等学校体育連盟会長が招集し、委員長がその議長となる。

附 則 1 本規程は、昭和52年5月6日より施行する。

2 昭和62年4月1日 事業および委員・役員の任期について一部改正

競 技 委 員 会 規 程

第1条 滋賀県高等学校体育連盟規約第8章第18条に基づき競技委員会（以下「委員会」という）を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

- (1) 競技会開催に関する根本方針を確立すること。
- (2) 春季・秋季総合体育大会および県民体育大会高等学校の部の実施方法その他重要事項を審議すること。
- (3) 専門部競技会開催の調整をはかること。
- (4) その他各前項に関連する事項

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 各地域から選出された委員6名
- (2) 評議委員会において推薦された若干名の委員
- (3) 会長が常務理事のなかから指名する若干名の委員

第4条 委員長 1名 副委員長 1名

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし会長が委嘱する。

第6条 委員長は、委員会を代表し、委員会の会務を処理する。

第7条 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第8条 委員および役員の任期は2か年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会が事業を処理するにあたっては、理事会にはかり、評議員会の承認を受ける。

第10条 委員会は滋賀県高等学校体育連盟会長が招集し、委員長がその議長となる。

- 附 則
- 1 本規程は、昭和46年6月17日より施行する。
 - 2 昭和62年4月1日 委員および役員の任期について一部改正
 - 3 平成9年3月14日 委員の構成について一部改正

選手強化対策委員会規程

第1条 滋賀県高等学校体育連盟規約第9章第19条に基づき選手強化対策委員会（以下「委員会」という）を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

- (1) 競技力向上に関する根本方針を確立すること。
- (2) 選手強化対策等の計画立案、選手およびコーチの強化に関すること。
- (3) 専門部の選手強化に協力すること。
- (4) その他各前項に関連する事業

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 評議員会において推薦された若干名の委員
- (2) 会長が常務理事の中から指名する若干名の委員

第4条 委員長 1名 副委員長 1名

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし会長が委嘱する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を処理する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第8条 委員および役員の任期は2か年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会が事業を処理するにあたっては、理事会にはかり、評議員会の承認を受ける。

第10条 委員会は滋賀県高等学校体育連盟会長が招集し、委員長がその議長となる。

附 則 1 本規程は、昭和46年6月17日より施行する。

2 昭和62年4月1日 委員および役員の任期について一部改正

調 査 研 究 委 員 会 規 程

第1条 滋賀県高等学校体育連盟規約第10章第20条に基づき調査研究委員会（以下「委員会」という）を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

- (1) 調査ならびに研究に関する基本計画を作成すること。
- (2) 体育・スポーツに関する調査ならびに研究の推進に関すること。
- (3) 各校・各専門部の調査ならびに研究に協力すること
- (4) その他各前項に関連する事業

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 評議員会において推薦された若干名の委員
- (2) 会長が常務理事のなかから指名する若干名の委員

第4条 委員長 1名 副委員長 1名

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし会長が委嘱する。

第6条 委員長は、委員会を代表し、委員会の会務を処理する。

第7条 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第8条 委員および役員の任期は2か年とする。ただし再任は妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会が事業を処理するにあたっては、理事会にはかり、評議員会の承認を受ける。

第10条 委員会は滋賀県高等学校体育連盟会長が招集し、委員長がその議長となる。

附 則 1 本規程は、昭和62年4月1日より施行する。

拡大委員会規程

第1条 滋賀県高等学校体育連盟規約第11章第21条に基づき拡大委員会（特別委員会）（以下「委員会」という）を設ける。

第2条 委員会は、次の事業を処理する。

- (1) 滋賀県高体連の将来の方針、運営に関する検討について。
- (2) 将来の全国大会開催に関すること。
- (3) その他各前項に関する事業

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 高体連会長、副会長、理事長、副理事長
- (2) 会長が指名する若干名の委員

第4条 委員長 1名 副委員長 1名

第5条 委員長および副委員長は委員の互選とし会長が委嘱する。

第6条 委員長は委員会を代表し委員会の会務を処理する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第8条 委員および役員の任期は2か年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会が事業を処理するにあたっては、理事会にはかり、評議員会の承認を受ける。

第10条 委員会は滋賀県高等学校体育連盟会長が招集し、会長がその議長となる。

附 則 1 本規程は、昭和24年12月7日より施行する。

滋賀県高等学校体育連盟積立金会計規程

第1条（総則） この規程は、滋賀県高等学校体育連盟（以下「本連盟」という）規約第22条の規定に基づき、本積立金会計処理に関する必要な事項を定める。

第2条（名称） 本積立金は、「滋賀県高等学校体育連盟積立金」（以下「高体連積立金」という）と称する。

第3条（目的） 高体連積立金は、全国高等学校総合体育大会等全国規模の大会に資する諸事業、ならびに、本連盟の目的遂行に資する諸事業を行うことにより、県下高等学校等の運動部活動の発展、振興に寄与することを目的とする。

第4条（原資） 高体連積立金の原資は、本連盟の一般会計からの積立金をもって充当する。

第5条（対象事業） 高体連積立金は、原則として下記の対象事業に必要な経費に充当する。

- (1) 全国高等学校総合体育大会の滋賀県開催に資する事業
- (2) 全国高等学校体育連盟研究大会の滋賀県開催に資する事業
- (3) 生徒減員に係る会費収入減に対応する事業
- (4) その他、本連盟会長が必要と認める事業

第6条（会計） 高体連積立金の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 2 高体連積立金の管理は本連盟事務局が担当し、本連盟の監事による監査を受けるものとする。
- 3 高体連積立金取崩、および、決算については本連盟評議員会において決議を必要とする。ただし、緊急を要する事業の経費については、会長の承認を経て経理し、本連盟評議員会において報告するものとする。

第7条（改廃） 本規定の改廃は本連盟評議員会の決議により行う。

- 附 則
- 1 本規程は、平成22年3月12日より施行する。
 - 2 この高体連積立金の資金は、本連盟が平成21年度末まで積み立てた「積立金A」および「積立金B」から引き継ぐものとする。

滋賀県高等学校体育連盟表彰規程

第1条 本連盟は本県高等学校体育を振興する目的を以て本規程に基づき優秀な成績を収めた個人・団体を表彰する。

第2条 本連盟の表彰は、常務理事会において審議され、評議員会の承認を得るものとする。

第3条 本連盟は、下の各項のうち何れかの項に該当するものについて、これを表彰する。

(1) 近畿大会で優勝した個人ならびに団体。

(2) 全国大会並びに国スポに於いて、3位以上の成績を収めた個人ならびに団体。

(3) 1・2項以外で適当と認めた個人ならびに団体。

第4条 被表彰者の推薦は各学校長からとする。

第5条 本連盟の表彰は表彰状を以てこれを行ない、記念品を授与する。

第6条 被表彰者推薦のための内規は別に定める。

第7条 本規程は、本連盟評議員の3分の2以上の同意を得て、これを改正することができる。

- 附 則
- 1 平成4年4月1日一部改正
 - 2 平成11年4月1日一部改正
 - 3 令和6年4月1日一部改正

滋賀県高等学校体育連盟表彰規程にかかる内規

- 1 前期は4月1日から10月31日まで、後期は11月1日から翌年3月31日までに開催された大会とする。
- 2 表彰は、前期(12月)、後期(4月)の年2回とする。ただし、卒業予定の生徒の後期表彰にあっては、常務理事会の選考をもって2月末までに表彰をすることができる。
- 3 受賞は同一年度に一人一回とする。
- 4 近畿大会とは近畿高等学校体育連盟が主催する大会とする。ただし、近畿高等学校体育連盟が主催していない大会(アメリカンフットボール・馬術・野球)については、専門部が定める大会とする。
- 5 各競技の学校対抗の得点は本賞の対象としない。
- 6 近畿・全国高校駅伝の区間1位は表彰対象とする。
- 7 県予選会を経ずして、全国大会に出場し優秀な成績を収めた場合は、1位のみを表彰対象とする。
- 8 団体競技の受賞は、大会の登録選手とする。

- 附 則
- 1 本内規は、平成11年4月1日より施行する。
 - 2 平成28年4月1日一部改正

※申し合わせ事項

- ・内規4に該当する近畿大会とは、近畿高等学校種目別大会を言う。(平成16年12月3日追加)
- ・本規程において対象とする大会は、高体連表彰の趣旨から、学校体育大会(全国高校総体・全国選抜大会・国民体育大会・その他全国大会、近畿種目別大会等)とし、社会体育系大会は除外する。また、対象とする学校体育大会であっても、学年別順位や学年別大会等は除外する。(平成29年12月1日追加)

様式 要覧 1.

滋賀県高等学校体育連盟被表彰者推薦書 (前期 ・ 後期)

高等学校長

印

団 体 (1) 近畿高等学校体育連盟種目別大会で優勝したもの

氏 名	学 年	種 目 ・ 記 録

(2) 全国大会ならびに国体で3位以内のもの

氏 名	学 年	種 目 ・ 記 録

個 人 (1) 近畿高等学校体育連盟種目別大会で優勝したもの

氏 名	学 年	種 目 ・ 記 録

(2) 全国大会ならびに国体で3位以内のもの

氏 名	学 年	種 目 ・ 記 録

滋賀県高等学校体育連盟功労者表彰規程

第1条 本規程は滋賀県高等学校体育連盟の振興発展に寄与し、功労の顕著な者について表彰する。

第2条 被表彰者は、常務理事会で審議され、評議員会で承認を得たものとする。

第3条 表彰の対象者は、次の各項の何れかに該当すると認められたものである。

- (1) 本連盟の振興発展に、その功労が顕著であったもの。
- (2) 本連盟にあって、永年指導に精励し、その功労が顕著であったもの。
- (3) 前項1・2の規定に関わらず適当と認められたもの。

第4条 第3条に該当する者のあるときは、事務局ならびに専門部が推薦するものとする。

第5条 本規程は、本連盟評議員の3分の2以上の同意を以て、これを改正することができる。

- 附 則
- 1 本規程は、平成4年7月20日より施行する。
 - 2 平成11年4月1日一部改正

滋賀県高等学校体育連盟功労者表彰規程にかかる内規

1 推薦に当たっては次に該当することを原則とする。

(1) 功労者賞

会長・副会長	無条件(勇退時)
理事長	無条件(勇退時)
委員会委員長	4年以上(勇退時)
委員会委員	6年以上(勇退時)
専門部委員長	通算4年以上(勇退時)

(2) 優秀指導者賞 全国高体連が主催する全国大会3位以上入賞の指導者。ただし定通大会ならびに県予選を経ずして出場した大会にあっては1位のみ。の指導者。
以上の成績を上げた指導者については、毎年これを表彰することができる。

(3) 永年優秀指導者賞 全国高体連が主催する全国大会において、同一競技に永年出場(10回以上)の指導者。

2 前項に該当する者がいる場合には、会長・副会長・理事長・その他については事務局が、専門部委員長・優秀指導者にあっては専門部が事務局と事前協議のうえ、年度終了後、速やかに推薦するものとする。

3 推薦書の様式は別に定める。

4 この内規は評議員の3分の2以上の同意を以て改正することができる。

- 附 則
- 1 本規程は、平成4年7月20日より施行する。
 - 2 平成4年12月11日一部改正
 - 3 平成6年3月10日一部改正
 - 4 平成11年4月1日一部改正
 - 5 平成19年4月1日一部改正

※ 申し合わせ事項…功労者賞の表彰については、過去に表彰していても、異なる役職の場合は再度表彰することができる。(平成18年12月1日追加)

様式 要覧 2

滋賀県高等学校体育連盟功労者表彰推薦書

推薦専門部名		記載責任者	
氏名		生年月日 (年齢)	昭和 平成 年 月 日生 (歳)
所属			
役職経験年数	役職名	推薦理由	
年～年			
年～年			
年～年			
年～年			
指導歴	学校名	具体的業績	
年～年			
年～年			
年～年			
年～年			
年～年			
年～年			
年～年			
年～年			
年～年			

滋賀県高等学校体育連盟指導者奨励賞表彰規程

第1条 本規程は、滋賀県高等学校体育連盟として高等学校運動部の振興と活性化に寄与するため、各加盟校において中堅的な指導者として献身的に運動部の指導に携わり、今後一層の活躍が期待される者について表彰する。

第2条 被表彰者は、常務理事会で審議され、評議員会で承認を得たものとする。

第3条 表彰対象者は、各加盟校において運動部指導者として、おおむね4年以上献身的に指導に取り組み、学校長が本賞該当者として推薦する者。

第4条 本規程は、本連盟評議員の3分の2以上の同意を以て、これを改正することができる。

附 則 1 本規程は、平成14年4月1日より施行する。

滋賀県高等学校体育連盟指導者奨励賞表彰規程にかかる内規

- 1 推薦に当たっては次に該当することに留意する。
 - (1) 被表彰者は、各加盟校において指導に熱心に取り組み、運動部の活性化に貢献している者であること。
 - (2) 被表彰者の年齢は本賞の性格上、おおむね40歳までであること。
 - (3) 表彰は、同一競技において同一人物に対し1回とする。
 - (4) 原則として1校1名以内の推薦とする。
- 2 競技専門部に適任者がいる場合は、専門部長を通じて該当学校長に推薦するものとする。
- 3 前項該当の推薦は1月までに完了し、被表彰者の決定は3月に行うものとする。
- 4 推薦書の様式は別に定める。

附 則 1 本内規は、平成14年4月1日より施行する。

様式 要覧 3

滋賀県高等学校体育連盟指導者奨励賞表彰推薦書

氏名 （フリガナ）		生年月日 （年齢）	昭和 平成 年 月 日 生 （ 歳 ）
担当運動部		在勤年数	
指導歴	年 ～ 年	（ 年間 ）	※在勤年数・指導歴は在任校分を記入下さい
推薦理由			

令和 年 月 日

高等学校

校長

印

滋賀県高等学校体育連盟旅費規程

- 第1条 滋賀県高等学校体育連盟（以下「高体連」と称する。）の役員に関する旅費の支給については本規程の定めるところによるものとする。
- 第2条 県高体連の旅費支給の対象となる役員は県高体連規約第6条に規定する役員のほか県総体（春・秋）、県体、定通総体（春・秋）、駅伝（全日制・定通制）の競技運営役員（生徒引率教員および加盟校以外の役員は除く）および特別委員会委員ならびに上部団体派遣役員とする。
- 第3条 旅費の支給は県高体連会長の指名もしくは委嘱によって旅行もしくは、運営に服した場合にのみ支給するものとする。
- 第4条 旅費の種類は、交通費、旅行雑費、宿泊料とする。
- 第5条 旅費計算および旅費請求については、滋賀県旅費支給条令に準じ、予算の範囲内において支給するものとする。
- ただし旅行雑費・宿泊料については別表のとおり定めるものとする。

別表

旅行雑費(1泊に付)	宿 泊 料	
	※甲 地	乙 地
県外宿泊 780円	10,900円	9,800円
県内宿泊 390円		

※甲 地
 東京都特別区
 横浜市・川崎市
 さいたま市・千葉市
 名古屋市・京都市
 大阪市・堺市
 神戸市・広島市
 福岡市

- 附 則 1 本規程は、昭和49年4月1日より施行する。
- 2 平成4年4月1日一部改正
- 3 平成11年1月1日 日当・宿泊料について一部改正
- 4 平成21年4月1日 旅行雑費について一部改正
- 5 平成25年4月1日 宿泊料について改正
- 6 平成26年4月19日 旅行雑費について改正

滋賀県高等学校体育連盟旅費規程にかかる内規

- 1 全国高等学校体育連盟諸会議は、滋賀県高等学校体育連盟(以下「高体連」と称する)旅費規程に準ずる。
- 2 近畿高等学校体育連盟諸会議は、高体連旅費規程に準ずるも急行料金および特別車輻料金は含まない。
- 3 県内諸会議は、高体連旅費規程に準ずる。
- 4 競技運営役員は高体連旅費規程に準ずる。
- 5 競技運営役員旅費のうち登山、スキーの宿泊料に関しては、乙地宿泊料を上限とし、実費を支給する。
- 6 大会役員旅費は、高体連旅費規程に準ずる。

- 附 則 1 本内規は、昭和50年4月1日より施行する。
- 2 平成4年4月1日一部改正
- 3 平成11年1月1日一部改正
- 4 平成21年4月1日一部改正
- 5 令和3年4月1日一部改正

大会競技役員旅費支給要項

本連盟が滋賀県高等学校体育連盟旅費規程に定める県内各種体育大会に、生徒引率以外の競技役員として従事した加盟校教員に対し所要の旅費について支給する。

1 支給額

支給額は、滋賀県財務会計オンラインシステムによる計算に準ずる。

※ただし有料道路利用料については、琵琶湖大橋のみ支給対象とする。

2 競技役員旅費請求書・精算書の提出および旅費の支給

競技役員に携った加盟校教員は、大会終了後、専門部委員長の確認印が捺印された競技役員旅費請求書を、速やかに当該加盟校の事務室へ提出する。

提出された競技役員旅費請求書は、事務室で取りまとめのうえ、精算書（様式要覧4）に競技役員旅費請求書を添え、高体連事務局へ送付する。

（提出期限：上半期9月下旬、下半期2月下旬）

高体連事務局は、提出された精算書および請求書について、滋賀県高等学校体育連盟旅費規程・同内規にもとづき、内容を確認のうえ、上半期分については10月下旬、下半期分については3月下旬をめぐり、旅費を当該校銀行口座に振り込む。

3 旅費請求書の様式記載について

（1）滋賀県高等学校体育連盟旅費規程、および旅費規程に関する内規にもとづき作成すること。

（2）用務先は開催される競技地を記入し、起点区分および交通手段については正確に記入すること。

（3）交通費は、財務会計オンラインシステムにより自動計算し、鉄道賃・車賃の合算額を記入すること。ただし、財務会計オンラインシステムを利用できない学校にあっては、交通費欄については空欄とする。（定期調整の有無については記入のこと）

（4）宿泊料については、県内宿泊の場合原則として支給しないが、競技種目のうち登山、スキーに関しては乙地宿泊料を上限とし、実費を支給する（宿泊領収書を添付すること）

（5）専門部委員長の捺印による確認印を得ること。

4 精算書の記載について

（1）大会別に作成すること。1人1日1行を使用すること。

（2）提出された全ての請求書について記載すること。

5 支給対象の大会は下記のとおりとする。

- 県高校春季総合体育大会
 - 県高校秋季総合体育大会
 - 県高校駅伝競走大会
 - 県民スポーツ大会高校の部
 - 県高校冬季体育大会
- 県高校定通制春季総合体育大会
 - 県高校定通制秋季総合体育大会
 - 県高校定通制駅伝競走大会

※ 専門部委員長は、支給対象以外の競技会・行事には、請求書を発行しないこと。

大会		競技役員旅費請求書					
所 属	高等学校			合 計	円		
氏 名		現住所					
月 日 (曜日)	会場名(旅行目的地) 起 点 区 分	交 通 手 段 (○をしてください)	交 通 費	旅 行 雑 費 (定 額)	宿 泊 (定 額)	金 額 小 計	用 務
/		・交通機関利用 ・自家用車利用 ・その他 ()	定期調整 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 円	円	円	円	
<	出発: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅 帰着: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅						
/		・交通機関利用 ・自家用車利用 ・その他 ()	定期調整 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 円	円	円	円	
<	出発: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅 帰着: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅						
/		・交通機関利用 ・自家用車利用 ・その他 ()	定期調整 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 円	円	円	円	
<	出発: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅 帰着: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅						
/		・交通機関利用 ・自家用車利用 ・その他 ()	定期調整 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 円	円	円	円	
<	出発: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅 帰着: <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自宅						

滋賀県高等学校体育連盟

会 長 ○ ○ ○ ○ 公印 部 長 公印 専門部委員長 印

※ 前日準備・後片付け・計量は対象外ですので注意してください。

- 附 則 1 平成 26 年 3 月 7 日一部改正
 2 平成 26 年 4 月 18 日一部改正
 3 令和 3 年 4 月 1 日一部改正

様式 要覧 4

大会競技役員旅費精算書

高等学校

No.	氏 名	月 日	会 場	競技種目	交通費	旅行雑費	宿泊費 (登山・時-)	合 計
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
				合 計				

滋賀県高等学校体育連盟 大会開催補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は滋賀県高等学校体育連盟が各専門部に交付する大会開催補助金の交付に関し必要な事項を定める。

(補助目的、補助対象)

第2条 滋賀県高等学校体育連盟は開催する大会が円滑に運営されるため、大会開催に係る事業に対して予算の範囲内で補助金を交付する。

(補助対象経費及び補助金の額)

第3条 前条に規定する補助対象事業（以下「補助事業」という。）の補助対象経費、補助金額は、別表第1に定めるとおりとする。各専門部の補助金額は、滋賀県高等学校体育連盟理事会で審議し、評議員会で承認する。

(補助金の交付申請)

第4条 滋賀県高等学校体育連盟専門部は、補助金の交付を受けようとするときは、専門部収支予算書を滋賀県高等学校体育連盟会長に提出しなければならない。

(補助金の交付決定)

第5条 会長は前条の規定による補助金の交付の申請が適当であると認めたときは、補助金の交付を決定し、当該専門部に通知する。

(補助の条件)

第6条 補助金の交付の目的を達成するため、各専門部は次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 補助事業に関する収入及び支出を明らかにした帳簿書類を作成し、当該収入及び支出について証拠書類を整備し、当該帳簿及び証拠書類を補助事業完了後5年間保管しておかなければならない。
- (2) 補助事業により取得し、又は効用の増加した財産については、補助事業の完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、補助金の交付目的に沿って、効率的な運用を図らなければならない。
- (3) 補助事業の執行に際しては、滋賀県高等学校体育連盟が行う契約手続きの取扱に準じて行わなければならない。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、会長が特に必要があると認めて指示した事項。

(補助事業の変更)

第7条 補助事業について、重要な変更を行おうとするときは、あらかじめ別記第1号様式による変更(中止)承認申請書を提出して会長の承認を受けなければならない。

- (1) 補助事業を中止、又は廃止する場合。
- (2) 補助事業の内容の重要な部分に関する変更を行う場合。

(補助金の概算払)

第8条 会長は、補助金の交付の目的を達成するため必要があると認めるときは補助金の概算払をすることができる。

(実績報告書)

第9条 各専門部は、補助事業が完了し、又は補助事業の廃止の承認を受けた場合は、専門部収支決算書に關係書類を添えて、補助事業の完了の日から起算して30日を経過した日又は3月31日のいずれか早い時期までに会長に提出しなければならない。

(遂行状況の報告等)

第10条 会長は、必要があると認めるときは、各専門部に対し補助事業の遂行状況報告を求め、又は、必要な調査を行うことができる。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は会長が別に定める。

附 則1 この要綱は平成25年4月1日から施行する。

別表第1

補助対象事業	補助対象経費	補助率及び補助金額
滋賀県高等学校体育連盟が 開催する大会に係る事業	報償費(諸謝金、褒賞)、旅費、 消耗品費、印刷製本費、通信運 搬費、使用料及び借損料その他 会長が必要と認める経費	別に定める。

令和 6 年度専門部収支予算書

収入 (単位：円)

項目	金額	説明
専門部運営補助金		
大会開催補助金合計		
春季総体		
秋季総体		
冬季大会		
県民スポーツ大会		
県内開催近畿大会		
その他大会		
専門部強化費		
補助金合計		
専門部加盟会費		
前年度繰越金		
その他の収入		
合計		* * *

専門部名

専門部長名 印

専門委員長名 印

経理担当者名

支出 (単位：円)

項目	金額	説明	(内訳→)	専門部運営費	春季総体	秋季総体	冬季大会	県民スポーツ大会	近畿大会	その他大会
報償費 (謝金・褒賞等)										
役員等旅費										
消耗品費										
通信運搬費										
印刷費										
使用料及び借借料										
雑費										
運営費合計		* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *
専門部強化費										
上部団体加盟負担金										
その他の支出										
合計		* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *

令和 6 年度専門部収支決算書

(単位：円)

収入

項目	金額	説明
専門部運営補助金		
大会開催補助金合計		
春季総体		
秋季総体		
冬季大会		
県民スポーツ大会		
県内開催近畿大会		
その他大会		
専門部強化費		
補助金合計		
専門部加盟会費		
前年度繰越金		
その他の収入		
合計		* * * *

専門部名.....

専門部長名..... 印

専門委員長名..... 印

経理担当者名.....

支出

(単位：円)

項目	金額	説明	(内訳→)	専門部運営費	春季総体	秋季総体	冬季大会	県民スポーツ大会	近畿大会	その他大会
報償費(謝金・褒賞等)										
役員等旅費										
消耗品費										
通信運搬費										
印刷費										
使用料及び賃借料										
雑費										
運営費合計		* * *		***	***	***	***	***	***	***
専門部強化費										
上部団体加盟負担金										
その他の支出										
次年度繰越金										
合計		* * *		***	***	***	***	***	***	***

様式 要覧 7

No.	専門部名
-----	------

令和 6 年度 大会予想

大会期日	令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()
会場	
参加校	男子 校・女子 校・合計 校
総参加人数	男子 名・女子 名・合計 名

○参加内訳並びに準決勝・決勝種目実施日

	参加人数		決勝・準決勝が行われる日の該当する欄にその種目名を記入してください
	男子	女子	
第1日			準決勝 決勝
第2日			準決勝 決勝
第3日			準決勝 決勝
()			準決勝 決勝
()			準決勝 決勝

※第1、2、3日とは大会基準日の第1、2、3日のことである。

○本大会が全国大会の最終予選である場合は下記事項を記入してください。

大会名	
参加資格	
開催期日	
開催場所	

予 想

男子団体

女子団体

個人男子

女子個人

その他話題性のある事柄

様式 要覧 8

令和 6 年度

大会収支決算書

専門部名 ()

専門部部長名 _____ 印

専門部委員長名 _____ 印

大会期日 令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額	積 算 内 訳
大会補助金 (高体連大会開催費)		
専門部負担金		
競技団体補助金		
協 賛 金		
雑 収 入		
合 計		

支出の部

科 目	金 額	積 算 内 訳
諸 謝 金		
報 賞 費		
旅 費		
消 耗 品 費		
印 刷 製 本 費		
通 信 運 搬 費		
使用料および損料		(内、会場使用料 円)
雑 費		
合 計		

※ 春季高校総体、秋季高校総体、県民スポーツ大会の各大会終了後、2週間以内に報告してください。

※ 領収書は、原本を提出してください。

様式 要覧 9

滋賀県高等学校体育連盟事故報告書

1 大会名 _____

2 事故発生日時 令和 年 月 日 () 時 分頃 _____

3 会場 (場所) _____

4 専門部名 _____

5 生徒氏名 _____ 高校 年生

6 事故等の状況

事故発生状況
 事故発生原因
 傷病・けが状況
 処置の状況 等

7 事故後処置等経過

①受診病院名 _____

②診断結果等 _____

8 報告者氏名 _____ 所属 _____ 連絡 TEL _____

※ 大会中において、万が一事故が発生した場合は、大会本部へすみやかにご報告下さい。

この欄は記入して頂かなくて結構です	受信者氏名	受信日時
		令和 年 月 日 () 時 分受付

全国ならびに近畿高等学校体育大会選手派遣補助金交付要綱

1 交付目的

全国高体連主催による全国高等学校総合体育大会ならびに全国高等学校体育連盟に加盟していない種目についての全国高等学校選手権大会に出場する選手に対する補助、および近畿高体連主催による近畿高等学校種目別大会ならびに近畿高等学校体育連盟に加盟していない種目についての近畿高等学校選手権大会に出場する選手に対する補助を行い、もって本県高校スポーツの競技力向上と振興に寄与することを目的とする。

2 要綱の運用

この目的を遂行するため、次の要項を定める。

- (1) 全国高等学校総合体育大会選手派遣補助金要項
- (2) 近畿高等学校体育大会選手派遣補助金要項
- (3) 全国・近畿高等学校体育大会器具運搬費補助金要項

3 各要項

それぞれの要項は、次に定める。

附 則 1 この要綱は、平成30年4月1日より施行する。

附 則 2 この要綱は、令和6年4月1日より施行する。

(1) 全国高等学校総合体育大会選手派遣補助金要項

1 補助対象

出場選手(マネージャーは除く)の交通費および宿泊費

2 補助額

予算の範囲内で補助する。補助額については、別に定める。

3 補助対象大会

補助対象大会については、別に定める。

4 補助金の交付

出場校より提出された実績報告書により、精算払いとして出場校の校長あて交付する。

5 補助額算出細則

(1) 交通費の算出

ア 学校最寄り駅から大会会場最寄り駅までの鉄路往復最安運賃とし、経路地は原則として下表のとおりとする。

経路地	行き先	湖西線	びわこ線	草津線	北陸線
A	東方面	京都	米原	米原	米原
B	西方面	京都	京都	京都	米原
C	北陸方面	敦賀	米原	米原	米原

イ JR利用を原則とし、適用可能割引後の運賃を利用機関の運賃規定に則り算出する。特急等利用の場合は、自由席料金で算出する。

(2) 宿泊数の算出

補助対象宿泊は、原則として下表のとおりとする。

	前日	泊	午前	午後	泊	午前or午後	泊	午前or午後	泊
A		○	総合開会式	種目別開会式	○	競技(勝)	○	競技(終)	△
B		○	種目別開会式	競技(勝)	○	競技(勝)	○	競技(終or負)	△
C		×		開会式	○	競技(負)	△		
D		×			○	競技(勝)	○	競技(負)	△

・○:補助対象, △:近畿ブロック以外の開催のみ補助対象, ×:補助対象外
 ・ボクシング競技の「医師による検診」は「競技」と見なす。その他の競技における大会出場のために必須な行事は、必要最少人数分のみ「開会式」と見なす。

(3) 近畿ブロック開催競技における交通費は、近畿高等学校体育大会選手派遣補助金要項を準用する。また、県内開催競技については、交通費のみを補助対象とする。

6 実績報告書の記載および提出

出場校の学校長は、大会終了後2週間以内に別紙様式(様式 要覧10~12)により実績報告書を作成し、高体連会長あて提出する。

(1) 実績報告書提出用鑑(様式 要覧10)

ア 出場学校長印を捺印の上、提出する。

(2) 事業報告書(様式 要覧11)

ア 大会概要および出場選手名簿(大会要項に基づくエントリー選手のみ)を記載する。

イ 競技結果については、初戦より最終戦まで詳細に記載する。(試合実施日・時刻、対戦チームとの勝敗・得点、タイム、最終順位等)

(3) 収支決算書(様式 要覧12)

ア 収入、支出ともに大会要項に基づく選手エントリー数(マネージャー、引率者および監督等は含まない)に要した経費を記載する。

イ 合計金額については、収入、支出が一致すること。

(4) 添付書類

ア 5(1)アにおける経路の旅費計算の根拠資料(鉄道運賃計算書)を添付する。

イ 宿泊領収書(セナハウス等素泊まり施設利用にあつては宿泊証明書(宿泊人数・宿泊日数・宿泊料記載)および布団代領収書)のコピー(校長の原本証明必要)または原本を添付する。

附 則1 この要項は、平成31年4月1日より施行する。

(2) 近畿高等学校体育大会選手派遣補助金要項

1 補助対象

出場選手(マネージャーは除く)の交通費。

2 補助額

予算の範囲内で補助する。補助額については、別に定める。

3 補助対象大会

補助対象大会については、別に定める。

4 補助金の交付

専門部ならびに出場校から提出された実績報告書により、精算払いとして出場校の校長あて交付する。

5 補助額算出細則

(1) 交通費の算出

ア 学校最寄り駅から大会会場最寄り駅(様式要覧13記載(各専門部報告分))までの鉄道最安運賃一往復分を補助対象とする。

イ 滋賀県内開催競技にあつては競技出場日数分(含開会式)の交通費を補助対象とする。

ウ JR利用を原則とし、適用可能割引後の運賃を利用機関の運賃規定に則り算出する。

※特急料金は補助対象外

6 実績報告書の記載および提出

(1) 出場競技専門部委員長にあつては、別紙様式(様式要覧13)により事業報告書を大会終了後速やかに高体連会長あて提出するとともに参加校に対し「会場最寄り駅」を通知する。

ア 選手派遣事業報告書(様式要覧13)

(7) 出場校名、人数を記入し、記載者印を捺印の上、提出する。

(2) 出場校の校長にあつては、別紙様式(様式要覧14~16)により実績報告書を作成し、必要書類を添付の上、大会終了後2週間以内に高体連会長あて提出する。

ア 実績報告書提出用鑑(様式要覧14)

(7) 出場校校長印を捺印の上、提出する。

イ 事業報告書(様式要覧15)

(7) 大会概要および出場選手名簿(大会要項に基づくエントリー選手のみ)を記載する。

(4) 競技結果については、初戦より詳細に記載する。(試合実施日・時刻、対戦チームとの勝敗・得点、タイム、最終順位等)

ウ 収支決算書(様式要覧16)(マネージャー、引率者および監督等は含まない)

(7) 収入、支出ともに大会要項に基づく選手エントリー数に要した経費を記載する。

(4) 合計については、収入額、支出額が一致すること。

エ 添付書類

(7) 5(1)アにおける経路の旅費計算の根拠資料(鉄道運賃計算書)を添付する。

附 則 1 この要項は、令和2年4月1日より施行する。

(別紙)

1 補助金の額

交通費は補助対象額の1/3(10円未満切捨)、宿泊費は1泊あたり「実費または2,000円のどちらか低い額」を補助する。ただし、素泊まり施設利用の際の食費は補助対象外とする。

2 補助対象大会

(1) 全国大会(交通費および宿泊費)

	課程	大会名	備考
1	全日制	全国高等学校総合体育大会	
		全国高等学校駅伝競走大会	
		全国高等学校選手権大会(全国高体連に加盟していない競技種目)	
2	定通制	全国高等学校定時制通信制総合体育大会	

(2) 近畿大会(交通費)

	競技名	大会名	備考
1	陸上競技	近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会	
		近畿高等学校駅伝競走大会	
2	水泳競技	近畿高等学校選手権水泳競技大会	
3	体操競技	近畿高等学校体操競技選手権大会	
		近畿高等学校新体操選手権大会	
4	ソフトテニス	近畿高等学校ソフトテニス選手権大会	
5	卓球	近畿高等学校卓球選手権大会	
6	バスケットボール	近畿高等学校バスケットボール選手権大会	
7	バレーボール	近畿高等学校バレーボール優勝大会	
8	バドミントン	近畿高等学校バドミントン選手権大会	
9	アメリカンフットボール	関西高等学校アメリカンフットボール選手権大会	
10	サッカー	近畿高等学校サッカー選手権大会	
11	ラグビーフットボール	近畿高等学校ラグビーフットボール大会	
12	ソフトボール	近畿高等学校ソフトボール選手権大会	
13	ハンドボール	近畿高等学校ハンドボール選手権大会	
14	剣道	近畿高等学校剣道大会	
15	柔道	近畿高等学校柔道新人大会 団体戦	
16	弓道	近畿高等学校弓道大会	
17	アーチェリー	近畿高等学校アーチェリー選手権大会	
18	相撲	近畿高等学校相撲大会	
19	ローイング	近畿高等学校ローイング選手権大会	
20	ヨット	近畿高等学校ヨット選手権大会	
21	登山	近畿高等学校登山大会	
22	スキー	近畿高等学校スキー選手権大会	
23	ウエトリフティング	近畿高等学校ウエトリフティング 競技選手権大会	
24	自転車	近畿高等学校自転車競技大会	
25	馬術	関西高等学校貸与馬障害飛越団体対抗トナメント戦	
26	ホッケー	近畿高等学校ホッケー選手権大会	
27	レスリング	近畿高等学校レスリング選手権大会	
28	テニス	近畿高等学校テニス大会	
29	フェンシング	近畿高等学校フェンシング選手権大会	
30	ボクシング	近畿高等学校ボクシング選手権大会	
31	空手道	近畿高等学校空手道大会	
32	カヌー	近畿高等学校カヌー選手権大会	
33	ライフル射撃	近畿高等学校春季ライフル射撃選手権大会	
34	スケート	全国高等学校アイスホッケー大会近畿北信越予選	
35	定通制	近畿高等学校定時制通信制課程体育大会	
36	なぎなた	近畿高等学校なぎなた選手権大会	

(3) 全国・近畿高等学校体育大会器具運搬費補助金要項

1 補助対象競技

大会要項に自艇参加が義務付けされている競技（ヨット競技・カヌー競技）

2 補助額

予算の範囲内で補助する。補助額については、前年度の予算要求で認められた額とする。

3 補助対象大会

- ・全国高等学校総合体育大会ヨット競技会
- ・全国高等学校総合体育大会カヌー競技会
- ・近畿高等学校ヨット選手権大会
- ・近畿高等学校カヌー選手権大会

4 補助金の交付

概算払い

- ・高体連事務局は専門部から提出された申請書と業者の請求書により、専門部部長あて概算払いをすることができる。

精算払い

- ・高体連事務局は専門部から提出された申請書と業者に支払われた領収書（宛名は専門部名）により、専門部部長あて精算払いを行う。

5 申請書の記載および提出

- (1) 出場競技専門部委員長は、概算払いを求める際には別紙補助金申請書に必要事項を記入し、運搬業者が発行した請求書を添付し高体連事務局に提出すること。
- (2) 提出を受けた高体連事務局は前年度見積書と突合し審査後、適正と認められた場合は定められた補助金を専門部指定口座に振り込む。
- (3) 概算払いで支払いを受けた専門部委員長は、業者支払い後の領収書（原本）を高体連事務局まで提出すること。
- (4) 精算払いで補助金を申請する場合は、別紙補助金申請書に必要事項を記入し、専門部名の領収書（原本）を添付し提出すること。
- (5) 提出を受けた高体連事務局は、申請書にしたがい予算の範囲内の補助金を専門部指定口座に支払う。

- 6 上記対象競技以外で大会参加のために大会で必要な器具の運搬が必要になった場合はできるだけ早い時期に高体連事務局に届け出て協議を行う。但し、補助対象競技に必ず認められるとは限らないので注意すること。

附 則 1 この要項は、令和6年4月1日より施行する。

全国・近畿高等学校体育大会器具運搬費補助金申請書

年 月 日

専門部部長名

印

専門部委員長名

印

以下の大会の器具運搬費の補助金を申請します。

概算

精算

(○印をつける)

大会名	
日 時	
場 所	
金 額	
添付書類	裏面に貼り付けても可

滋賀県高等学校体育連盟会長 南 雄志 様

学校名

校 長

印

令和 6 年度 全国高等学校総合体育大会
(大会実績報告書について (報告))

このことについて、標記大会が終了しましたので下記の関係書類を添えて報告します。

記

添付書類

- 1 事業報告書 (様式 11)
- 2 収支決算書 (様式 12)
- 3 旅費計算の根拠資料 (鉄道運賃計算書)
- 4 宿泊領収書 (原本・原本証明付写)

学校名	
課程等	
種目名	
記載者名	

大会名		
大会期日		～
会場	名称	
	所在地	(最寄駅)
宿泊所	名称	
	所在地	

出場選手名簿 (エントリー選手のみ)									
氏名	学年	性別	氏名	学年	性別	氏名	学年	性別	

開会式		参加人数	人	日程	2023年△月□日(○)	〇〇:△△	開始
-----	--	------	---	----	--------------	-------	----

競技結果		〔初戦より詳細に、最終○位あるいはベスト○まで記載のこと また、記入しきれない時は裏面記載・別紙にて提出のこと〕	
月/日 (曜日)	開始時刻	結 果	

学校名	
課程等	
種目名	
記載者名	

競技結果			
初戦より最終結果(順位、ベスト○)まで詳細に記載のこと。			
月	日	(曜)	結 果

学校名	
課程等	
種目名	
記載者名	

収入の部

科目	金額	内 訳
補助金	①	滋賀県高体連
学校負担金	②	生徒会費等
個人負担金	③	出場選手(エントリー人数)が負担した額
その他	④	専門部よりの交付金、後援会費、寄付金等
合計	⑤	

支出の部

科目	金額	内 訳																																																	
旅費	⑥	<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">@ 片道 経路</td> <td>()駅~()駅</td> <td>正規</td> <td>円</td> <td>団券 学割 往復割引 利用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>()駅~()駅</td> <td>正規</td> <td>円</td> <td>団券 学割 往復割引 利用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>()駅~()駅</td> <td>正規</td> <td>円</td> <td>団券 学割 往復割引 利用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>()駅~()駅</td> <td>正規</td> <td>円</td> <td>団券 学割 往復割引 利用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>()駅~()駅</td> <td>正規</td> <td>円</td> <td>団券 学割 往復割引 利用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>()駅~()駅</td> <td>特急等利用</td> <td>()円(自由席)</td> <td>(利用列車毎に記入)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>()駅~()駅</td> <td>特急等利用</td> <td>()円(自由席)</td> <td>(利用列車毎に記入)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>()駅~()駅</td> <td>特急等利用</td> <td>()円(自由席)</td> <td>(利用列車毎に記入)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">(@片道)円×2× 人× 日=⑥()円 往復)</td> </tr> </table>	@ 片道 経路	()駅~()駅	正規	円	団券 学割 往復割引 利用	円	()駅~()駅	正規	円	団券 学割 往復割引 利用	円	()駅~()駅	正規	円	団券 学割 往復割引 利用	円	()駅~()駅	正規	円	団券 学割 往復割引 利用	円	()駅~()駅	正規	円	団券 学割 往復割引 利用	円	()駅~()駅	特急等利用	()円(自由席)	(利用列車毎に記入)			()駅~()駅	特急等利用	()円(自由席)	(利用列車毎に記入)			()駅~()駅	特急等利用	()円(自由席)	(利用列車毎に記入)			(@片道)円×2× 人× 日=⑥()円 往復)				
		@ 片道 経路		()駅~()駅	正規	円	団券 学割 往復割引 利用	円																																											
()駅~()駅	正規			円	団券 学割 往復割引 利用	円																																													
()駅~()駅	正規			円	団券 学割 往復割引 利用	円																																													
()駅~()駅	正規			円	団券 学割 往復割引 利用	円																																													
()駅~()駅	正規			円	団券 学割 往復割引 利用	円																																													
()駅~()駅	特急等利用		()円(自由席)	(利用列車毎に記入)																																															
	()駅~()駅	特急等利用	()円(自由席)	(利用列車毎に記入)																																															
	()駅~()駅	特急等利用	()円(自由席)	(利用列車毎に記入)																																															
	(@片道)円×2× 人× 日=⑥()円 往復)																																																		
宿泊費	⑦	@ 円 [平均宿泊単価(参考)]× 泊 [補助対象総宿泊数] = ⑦ 円 (@ 2,000 円× 泊 [補助対象総宿泊数] = 円)⑧																																																	
合計	⑨																																																		

高体連補助額	⑩	交通費⑥の1/3(10円未満切り捨て) + ⑧
--------	---	-------------------------

【記入上の注意】

- (1)収入、支出ともに大会要項に基づくエントリー選手数(以内)に要した経費を記載すること。
- (2)マネージャー、引率者および監督は含まない。
- (3)内訳欄には算出基礎(交通費単価、人数等)および、団券・学割・往復の割引利用を記載すること。
- ①=⑩
- ②③④ … 収支が合う(⑤=⑨)ようそれぞれ支出した額を記入。
- ⑤=⑨
- ⑥ … 学校最寄り駅(鉄道の駅)から競技会場最寄り駅(原則として鉄道の駅)までの往復交通費実費を記入する(出場選手(エントリー選手)が8名以上は団券、100km(JR)を超えるものは学割、600kmを超えるものは往復割引を適用(往復・学割は併用))。現地移動費(宿舎~会場間等)は含めない(補助対象外)。
 鉄道以外経費(バス代等)は補助対象外です。
- ⑦ … 補助対象となる宿泊費合計を記入する。またそれに該当する「総宿泊数」とその「平均単価」を記入する。県内開催競技は、補助対象外であり交通費のみの請求とする。(※補助額⑧は2,000円×対象総宿泊数)
- ⑩ … ⑥の1/3の額(10円未満切り捨て)に、⑧を加えた額。

【添付書類】

- ・宿泊領収書の写し(校長の原本証明(要校長印押印)のあるもの)または原本
- ・旅費計算の根拠資料(鉄道運賃計算書)

滋賀県高等学校体育連盟会長 南 雄志 様

学校名

校 長

印

令和 6 年度 近畿高等学校体育大会
() 大会実績報告書について (報告)

このことについて、標記大会が終了しましたので下記の関係書類を添えて報告します。

記

添付書類

- 1 事業報告書 (様式 15)
- 2 収支決算書 (様式 16)
- 3 旅費計算の根拠資料 (鉄道運賃計算書)

学校名	
課程等	
種目名	
記載者名	

収入の部

科目	金額	内 訳
補助金 ①		滋賀県高体連
学校負担金 ②		生徒会費等
個人負担金 ③		出場選手(エントリー人数)が負担した額
その他 ④		専門部よりの交付金、後援会費、寄付金等
合計 ⑤		

支出の部

科目	金額	内 訳
旅費 (交通費)	⑥	()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		()駅~()駅 [正規] 円 団券 学割 利用 円
		(@片道)円×2× 人× 1 日=⑥(円 往復)
合計 ⑨		

高体連補助額 ⑩	交通費⑥の1/3(10円未満切り捨て)
----------	---------------------

【記入上の注意】

- (1)収入、支出ともに大会要項に基づくエントリー選手数(以内)に要した経費を記載すること。
- (2)マネージャー、引率者および監督は含まない。
- (3)内訳欄には算出基礎(交通費単価、人数等)および、団券・学割・往復の割引利用を記載すること。
- (4)特急は補助対象外です。

①=⑩

②③④ … 収支が合う(⑤=⑨)ようそれぞれ支出した額を記入。

⑤=⑨

⑥ … 学校最寄り駅(鉄道の駅)から競技会場最寄り駅(原則として鉄道の駅)までの往復交通費実費を記入する(出場選手(エントリー選手)が8名以上は団券、100km(JR)を超えるものは学割適用)。現地移動費(タクシー代・バス代等)は含めない(補助対象外)。

⑩ … ⑥の1/3の額(10円未満切り捨て)

【添付書類】

- ・旅費計算の根拠資料(鉄道運賃計算書)

滋賀県スポーツ振興補助金交付要綱

この補助金にかかる補助対象事業の実施にあたっては、「専門部強化補助金交付要綱」を準用する。

専門部強化補助金交付要綱

1 交付目的

この補助金は、全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ大会および滋賀県高等学校体育連盟が主催、主管する大会等に優秀な成績をおさめるとともに、各競技種目全般の競技力向上を図るための専門部の事業に対して、その経費の一部を補助し、もって本県の高校スポーツの振興に寄与することを目的とする。

2 事業内容

当初の目的を達成するために、本連盟各競技専門部が実施する県内外合宿および県内日帰り練習等を対象とし補助を行う。補助対象期間を4月1日から翌年2月28日までとする。

3 補助額

定 額（滋賀県競技力向上対策課が定めた額）

4 補助金の交付および関係書類の提出

- (1) 各競技専門部は、5月中旬までに別紙様式により事業申請関係書類を高体連事務局宛提出する。
- (2) 高体連事務局は関係書類について審査のうえ、補助金の交付を行う。
- (3) 各競技専門部は、全事業完了後2週間以内に、別紙様式により事業実績関係書類を高体連事務局宛提出すること。

5 関係書類に係る注意事項

(1) 交付申請に関わる事項

① 交付申請書（様式 要覧21）

- ・当該年度5月中旬までに、事業計画書と収支予算書を添えて提出する。

② 事業計画書（様式 要覧22-1）

- ・必要事項を記入し提出する。

③ 収支予算書（様式 要覧22-2）

- ・必要事項を記入し提出する。
- ・補助対象経費は〔別表〕のとおり。

(2)実績報告に関わる事項

- ①実績報告書（様式 要覧 23-1 23-2（一部返金） 23-3（全額返金））
 - ・ 全補助対象事業完了後2週間以内に提出する。
 - ・ 様式には、部長名、事業責任者名、会計責任者名を記入し、全てに押印する。
 - ・ 事業責任者と会計責任者は別々の教員が担当すること。
 - ・ 実績報告書とともに、〔事業 No.別〕報告書、収支決算書、〔事業 No.別〕旅費支出明細、〔事業 No.別〕領収書添付用紙を添えて提出する。
 - ・ 返金が生じた場合は、要覧 23-2 もしくは 23-3 を使用する。
- ②〔事業 No.別〕報告書（様式 要覧 24-1）
 - ・ 事業毎に作成し提出する。
 - ・ 事業 No.は収支決算書の事業 No.と一致させること。
- ③収支決算書（要覧 様式 24-2）
 - ・ 必要事項を記入し提出すること。
 - ・ 要覧 23-1 に記載した会計責任者名を記入し、責任者を一致させること。
 - ・ 「補助対象経費」に見合う領収書の原本（コピー不可）を提出すること。
- ④〔事業 No.別〕旅費支出明細（要覧 様式 25）
 - ・ 事業毎に作成し、事業 No. は収支決算書の事業 No.と一致させる。
 - ・ 要覧 23-1 に記載した会計責任者名を記入し、責任者を一致させること。
 - ・ 会計責任者と支払実施者は別々の教員が担当すること。
 - ・ 旅費起点は所属学校最寄り駅または、集合駅とする。
 - ・ 経路毎に旅費計算の根拠資料（鉄道運賃計算書）を提出すること。
 - ・ 旅費支出明細には旅費支払実施者の押印があること。
- ⑤〔事業 No.別〕領収書添付用紙（要覧 様式 26）
 - ・ 事業毎に添付用紙1枚を使用し、事業 No. は収支決算書の事業 No.と一致させる。
 - ・ 領収書は原本を添付すること（コピー不可）。
 - ・ 領収書の宛名は当該専門部宛とする。

(3)その他

- ①補助金交付事業であり、事業経費は補助金を上回ること。

滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金 対象経費・支出基準

〔別表〕

科 目		補助対象経費等の額および制限
選手・指導者	交通費	県内外共通 実費（旅費計算の根拠資料提出）
	宿泊費	1泊食事付き 【甲地】 10,900円上限 【乙地】 9,800円上限
		1泊素泊まり 【甲地】 8,700円上限 【乙地】 7,600円上限
		セミナー等素泊り施設利用 実費（会館使用料 布団代）
	素泊り施設利用の別途食費の別途食費（領収書不要） 素泊まり施設利用の場合、宿泊証明書・布団代領収等提出の上で、2,200円上限（夕食1,466円、朝食733円）昼食は対象外	
講師	交通費	実費（旅費計算の根拠資料提出）
	宿泊費	実費（昼食は対象外）
	報償費（謝金）	1時間あたり6,000円上限〔滋賀県職員は対象外〕 ※医師・トレーナーは10,000円上限／1日
会場借上料		実費（他の補助事業と重ならないよう注意）
その他	消耗品 （単価100,000円未満）	補助金の範囲内 （ただし、原則として強化事業実施に必要なもの） ※見積書必要 ※購入後の写真必要
	備品 （単価100,000円以上）	対象外
備考	〔宿泊費〕の甲地・乙地は下記のとおり 【甲地】 東京都（特別区）・神奈川県（横浜市・川崎市・相模原市）・さいたま市・千葉市・名古屋市・京都市・大阪府（大阪市・堺市）・神戸市・広島市・福岡市 【乙地】 甲地以外の地域	

令和6年4月1日 一部改正

記入例

令和 6 年 4 月 25 日

事業実施日前の日付け、5月中旬までに提出。

滋賀県高等学校体育連盟

会長 南 雄志 様

専門部長印

専 門 部 名 滋賀県高体連〇〇専門部
 部 長 名 〇〇〇〇 印
 事業責任者名 〇〇〇〇 印

令和 6 年度 滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金
 交付申請書

滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金交付要綱に基づき次の関係書類を添えて申請します。

記

- 1 補助事業名 専門部強化事業
- 2 補助金額 100,000 円
- 3 専門部強化事業計画書 別紙(様式 要覧22-1)のとおり
- 4 専門部強化事業収支予算書 別紙(様式 要覧22-2)のとおり

様式 要覧 2 1

令和 年 月 日

滋賀県高等学校体育連盟

会長 南 雄志 様

専 門 部 名

部 長 名

事業責任者名

印
印

令和 6 年度 滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金
交付申請書

滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金交付要綱に基づき次の関係書類を
添えて申請します。

記

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 補助事業名 | 専門部強化事業 |
| 2 補助金額 | 円 |
| 3 専門部強化事業計画書 | 別紙（様式 要覧 2 2 - 1）のとおり |
| 4 専門部強化事業収支予算書 | 別紙（様式 要覧 2 2 - 2）のとおり |

令和(6)年度()専門部強化事業計画書

記入例

()枚目

事業 No.	開始日	終了日	目的	会場		宿泊先		参加者数	
				住所	住所	住所	住所	指導者	選手
1	5月3日	5月5日	強化合宿	滋賀県立スポーツ会館 大津市御陵町4-1	滋賀県立スポーツ会館 大津市御陵町4-1	3	21		1
2	7月16日	7月18日	全国高校総体直前合宿	奈良市鴻池陸上競技場 奈良市法蓮佐保山4-5-1	未定 未定	2	14		0
3									
4									
5									
6									
実施日数		6				5	35		1
総実施日数									

収支予算書の事業No.と
同一にすること

←事業計画が複数枚にわたる場合、最終ページにのみ記載する→

令和（6）年度（ ）専門部強化事業計画書

（ ）枚目

事業 No.	開始日	終了日	目的	会場		宿泊先		参加者数			
				住所	住所	住所	住所	指導者	選手	講師	
1											
2											
3											
4											
5											
6											
	実施日数										参加者数合計
	総実施日数										総参加者数

←事業計画が複数枚にわたる場合、最終ページにのみ記載する→

記入例

令和(6)年度 (〇〇) 専門部強化事業収支予算書

補助対象経費については、領収書(原本)を提出。
補助対象項目かどうか、要項で確認のこと。

収入の部		支出の部												
事業No.	高体連補助金	専門部負担金	参加料等 その他	合計金額	交通費	起 点 ~ 目的地 指導者交通費 選手交通費	会場 使用料	会場名 ④(単価)×回数 金額	講 師	報 奨 費 宿 泊 費 交 通 費	そ の 他	項 目 ④(単価)×回数 金額		補助対象経費 (収支書提出)
												項目	金額	
1	100,000 円	56,460 円	146,000 円	302,460 円	交通費	各地 ~ 大津京	会場使用料	滋賀県立フロンティア会館 ④ 12,320 × 3 回数 金額 36,960 円	講師	報 宿 交 8,400 円 2,220 円	その他	項目 ④ × 回数 金額 100,000 円	総事業費	302,460 円
2	240,000 円	76,160 円	203,600 円	519,760 円	交通費	近江八幡 ~ 近鉄奈良	会場使用料	会場 奈良市河内池上競技場 ④ 25,000 × 2 回数 金額 50,000 円	講師	報 宿 交	その他	項目 消耗品購入 8,800 × 22 回数 金額 193,600 円	総事業費	519,760 円
3	円	円	円	円	交通費	~	会場使用料	会場 ④	講師	報 宿 交	その他	項目 金額	円	円
4	円	円	円	円	交通費	~	会場使用料	会場 ④	講師	報 宿 交	その他	項目 ④ × 回数 金額	円	円
5	円	円	円	円	交通費	~	会場使用料	会場 ④	講師	報 宿 交	その他	項目 ④ × 回数 金額	円	円
6	円	円	円	円	交通費	~	会場使用料	会場 ④	講師	報 宿 交	その他	項目 ④ × 回数 金額	円	円
合計	340,000 円	132,620 円	349,600 円	822,220 円	交通費	73,440 円	会場使用料	86,960 円	講師	10,620 円	その他	193,600 円	総事業費	822,220 円

・消耗品購入=予算の範囲内
・原則として、強化事業実施に必要なものを
事業実施にわたせて購入する。

事業計画書のNo.と
同一にすること

令和(6)年度 () 専門部強化事業収支予算書

事業 No.	収入の部	高体連補助金	専門部負担金	参加料等 その他	合計金額	支出の部										補助対象経費 (領収書提出)											
						事業 No.	宿泊費	@ (単価) × 泊数 指導者宿泊費 選手宿泊費	交通費	起 点 ~ 目的地 指導者交通費 選手交通費	会場使用料	会場名 @ (単価) × 回数 金額	講師	報 奨 費 宿 泊 費 交 通 費	そ の 他		項 目 @ (単価) × 回数 金額	総事業費									
1	円	円	円	円	円	1	宿泊費	@ 指 選	交通費	~	会場使用料	講師	報 宿 交	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円			
2	円	円	円	円	円	2	宿泊費	@ 指 選	交通費	~	会場使用料	講師	報 宿 交	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
3	円	円	円	円	円	3	宿泊費	@ 指 選	交通費	~	会場使用料	講師	報 宿 交	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
4	円	円	円	円	円	4	宿泊費	@ 指 選	交通費	~	会場使用料	講師	報 宿 交	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
5	円	円	円	円	円	5	宿泊費	@ 指 選	交通費	~	会場使用料	講師	報 宿 交	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
6	円	円	円	円	円	6	宿泊費	@ 指 選	交通費	~	会場使用料	講師	報 宿 交	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
合計	円	円	円	円	円	合計	宿泊費		交通費		会場使用料	講師	報 宿 交	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

記入例

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

滋賀県高等学校体育連盟

会長 南 雄志 様

事業終了後、2週間以内に提出

専 門 部 名	滋賀県高体連○○専門部	
部 長 名	○○○○	印
事業責任者名	○○○○	印
会計責任者名	○○○○	印

令和 6 年度 滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金
実績報告書

滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金交付要綱に基づき次の関係書類
(領収書原本) を添えて報告します。

記

- 1 補助事業名 専門部強化事業
- 2 補助金額 円
- 3 専門部強化事業〔事業No: 別〕報告書 別紙 (様式 要覧 24-1) のとおり
- 4 専門部強化事業収支決算書 別紙 (様式 要覧 24-2) のとおり
- 5 〔事業No. 別〕旅費支出明細 別紙 (様式 要覧 25) のとおり
- 6 〔事業No. 別〕領収書添付用紙 別紙 (様式 要覧 26) のとおり

様式 要覧 23-1

令和 年 月 日

滋賀県高等学校体育連盟

会長 南 雄志 様

専 門 部 名

部 長 名

事業責任者名

会計責任者名

印

印

印

令和 6 年度 滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金
実績報告書

滋賀県高等学校体育連盟専門部強化補助金交付要綱に基づき次の関係書類
(領収書原本) を添えて報告します。

記

- 1 補助事業名 専門部強化事業
- 2 補助金額 円
- 3 専門部強化事業〔事業No. 別〕報告書
別紙(様式 要覧 24-1) のとおり
- 4 専門部強化事業収支決算書 別紙(様式 要覧 24-2) のとおり
- 5 〔事業No. 別〕旅費支出明細 別紙(様式 要覧 25) のとおり
- 6 〔事業No. 別〕領収書添付用紙 別紙(様式 要覧 26) のとおり

記入例

事業No. 1

事業毎に作成
事業No. の一致

令和 6 年度 (〇〇) 専門部強化事業(事業No. 別) 報告書

期 日	令和 6 年 5 月 8 日(水)～ 6 年 5 月 11 日(金) 2泊 3日						
会 場	会場名	滋賀県立スポーツ会館		住所	大津市御陵町4-1		
宿 舎	宿舎名	滋賀県立スポーツ会館		住所	大津市御陵町4-1		
指導者名(所属)	〇〇〇(〇〇高校)・〇〇〇(〇〇高校)・〇〇〇(〇〇高校)						
参加人数	指導者		選手		講師		合計
	3	名	21	名	1	名	25 名
講師名(所属)	〇〇〇(△△大学)						
日程および成果	5月3日 基本練習						
	応用練習						
	5月4日 練習試合 滋賀選抜チーム ○ 5-2 × ・・選抜チーム 滋賀選抜チーム × 2-3 ○ ・・選抜チーム						
	5月5日 実践練習 総括						

※当初計画から「日程」・「内容」・「実施回数」等が変更となった場合
その理由を「日程および成果」の欄に記入してください。

[例]
・当初〇月〇日～△日に強化合宿を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡散の影響により実施できなかったため下記日程および内容に変更した。
・当初3回の強化事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数を2回に減らすとともに、日程・内容を変更した。
詳細は以下(別紙)のとおり。 等

※報告書の事業No. は決算書の事業No. と一致させること。

令和 6 年度 () 専門部強化事業〔事業No.別〕報告書

期 日	令和 年 月 日() ~ 年 月 日() 泊 日								
会 場	会場名					住所			
宿 舎	宿舎名					住所			
指導者名(所属)									
参加人数	指導者		選手		講師		合計		
		名		名		名			名
講師名(所属)									
日程および成果									

※報告書の事業No.は決算書の事業No.と一致させること。

補助対象経費については、領収書(原本)を提出
補助対象項目かどうか、要項で確認のこと

収入の部		支出の部													
事業No.	高体連補助金	専門部負担金	参加料等その他	合計金額	交通費	指 導 者 交 通 費	起 点 ~ 目 的 地 指 導 者 交 通 費	会 場 使 用 料	会 場 名	講 師	報 奨 費	其 他	項 目	項 目	収 入
1	100,000円	56,460円	146,000円	302,460円	4,200円	25,200円	6,660円	36,960円	滋賀県立スポーツ会館	講師	0円	その他	302,460円	100,000円	
2	240,000円	76,160円	203,600円	519,760円	8,000円	32,000円	2,520円	25,000円	奈良市埴池陸上競技場	講師	8,400円	その他	519,760円	240,000円	
3	0円	0円	0円	0円	8,000円	224,000円	17,640円	50,000円	消費品購入	講師	2,220円	その他	0円	0円	
4	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	消費品購入	講師	0円	その他	0円	0円	
5	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	消費品購入	講師	0円	その他	0円	0円	
合計	340,000円	132,620円	349,600円	822,220円	457,600円	457,600円	73,440円	86,960円		講師	10,620円	その他	822,220円	340,000円	

会計責任者名

令和(6)年度 () 専門部強化事業収支決算書

収入の部		支出の部										科目											
事業No.	高体連補助金	専門部負担金	参加料等その他	合計金額	宿泊費	①(単価)×泊数 指導者宿泊費 選手宿泊費	交通費	起点～目的地 指導者交通費 選手交通費	会場使用料	会場名		講師	報奨費			その他	項目			総事業費	補助対象経費 (領収書提出)		
										金額	回数		金額	金額	金額		金額	金額	金額			金額	金額
1	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
2	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
3	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
4	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
5	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
合計	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

会計責任者名

記入例

事業毎に作成
事業No. の一致

事業No. 1

令和 6 年度 (〇〇) 専門部強化事業
〔事業No. 別〕旅費支出明細 (指導者・選手・講師)

区分	氏名	所属名	経路 (区間)	上段 JR		運 (片道)	運 (往復)	日 数	合 計 (往 復)
				下段	私鉄その他				
指導者	1 高体連 一郎	彦根高校	彦根	~	大津京	1,110 円	円	1	2,220 円
	2 高体連 二郎	彦根高校	彦根	~	大津京	1,110 円	円	1	2,220 円
	3 高体連 三郎	彦根高校	彦根	~	大津京	1,110 円	円	1	2,220 円
	4		彦根	~	大津京	円	円	1	円
小計	3 人								6,660 円
選手	1 高体連 四郎	彦根高校	彦根	~	大津京	1,110 円	円	1	2,220 円
	2		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	3		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	4		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	5		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	6		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	7		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	8		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	9		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	10		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	11		彦根	~	大津京	円	円	1	円
小計	1 人								2,220 円
講師	1 滋賀 一郎	△△大学	彦根	~	大津京	1,110 円	円	1	2,220 円
	2		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	3		彦根	~	大津京	円	円	1	円
	4		彦根	~	大津京	円	円	1	円
小計	1 人								2,220 円

※事業毎に作成すること。

※経路毎に旅費計算の根拠資料（鉄道運賃計算書）を添付すること。

令和 6 年 月 日

押印は必要なし

上記の旅費を支払ったことを証明します。

会計責任者

支払実施者

所属

所属

氏名

氏名

押印が必要

印

令和 6 年度 () 専門部強化事業
 [事業No. 別] 旅費支出明細 (指導者・選手・講師)

() 枚目

区分	氏名	所属名	経路 (区間)	上段 下段	JR 私鉄その他	運賃 (片道)	特急料金等 (片道)	日数	合計 (往復)
指導者	1			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	2			~		円	円	1	円
				~		円	円		
指導者	3			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	4			~		円	円	1	円
				~		円	円		
小計	人							円	
選手	1			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	2			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	3			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	4			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	5			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	6			~		円	円	1	円
			~		円	円			
7			~		円	円	1	円	
			~		円	円			
8			~		円	円	1	円	
			~		円	円			
9			~		円	円	1	円	
			~		円	円			
10			~		円	円	1	円	
			~		円	円			
11			~		円	円	1	円	
			~		円	円			
小計	人							円	
講師	1			~		円	円	1	円
				~		円	円		
	2			~		円	円	1	円
				~		円	円		
講師	3			~		円	円	1	円
				~		円	円		
講師	4			~		円	円	1	円
				~		円	円		
小計	人							円	

※事業毎に作成すること。

※経路毎に旅費計算の根拠資料(鉄道運賃計算書)を添付すること。

令和 年 月 日

上記の旅費を支払ったことを証明します。

会計責任者

支払実施者

所属

所属

氏名

氏名



領収書添付用紙

記入・使用例

(〇〇〇〇) 専門部

専門部強化

大会・事業に関する領収書を提出します。

事業No.	1
専門部強化事業に使用の場合は 事業No. を上に記入し、 事業別に分けて使用のこと。	

注意

必ず、専門部名宛
とすること

令和〇年5月6日

領 収 書

滋賀県高体連〇〇専門部 様

¥36,960円

但し、施設使用料として上記の金額を領収しました。

大津市御陵町4-1

滋賀県スポーツ会館

出納員 〇〇〇〇 印

令和〇年5月6日

領 収 書

滋賀県高体連〇〇専門部 様

¥176,400円

但し、選手宿泊費(夕・朝2食付き)として上記金額を領収しました。

大津市御陵町4-1

滋賀県スポーツ会館

出納員 〇〇〇〇 印

領収書合計金額が、補助金額を上回ること

※専門部強化事業に使用の場合は、事業毎に作成すること。

領 収 書 添 付 用 紙

() 専門部

--

大会・事業 に関する領収書を提出します。


事業No.	
専門部強化事業に使用の場合は 事業No. を上に記入し、 事業別に分けて使用のこと。	

※専門部強化事業に使用の場合は、事業毎に作成すること。

[別紙]

近畿高等学校体育連盟種目別大会年度別開催地順序表(案)

種目	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	備考
陸上競技	和	大	京(兵)	兵(京)	奈(滋)	滋(奈)	和	大	兵	京	3・4・5・6年度変更
ソフトテニス	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	
バレーボール	兵	京	滋	奈	和	大	京(兵)	兵(京)	滋	奈	7・8年度変更
水泳	兵	大	京	和	奈	兵	滋	大	京	和	
卓球	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	兵	
ハンドボール	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	兵	京	
バスケットボール	大	兵	京	滋	奈	和	兵(大)	大(兵)	京	滋	7・8年度変更
柔道	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	
バドミントン	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	
剣道	大	兵	京	滋	奈	和	大	兵	京	滋	
自転車	京	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	
テニス	京	奈(滋)	滋(奈)	和	大	兵	京	滋	奈	和	2・3年度変更
ソフトボール	京	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	
相撲	和	和	京(和)	滋	大	兵	未	未	未	未	R3年度から開催地変更・予定のものは申請書待ち
登山	和(奈)	奈(和)	大	兵	滋(京)	京(滋)	奈	和	大	兵	5・6年度変更
弓道	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	兵	京	
ボート	大(奈)	和	京(兵)	滋(京)	大(滋)	兵(大)	未	未	未	未	3・4・5・6年度変更・7年度以降未定
体操	兵	京	和(滋)	奈	大(兵)	滋	兵(大)	京	滋	奈	5・6・7年度変更
スキー	京	滋	京	滋	大	兵	京	滋	京	滋	和歌山・奈良(開催なし)
サッカー	兵	京	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	
ラグビー	京	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	
ウエイトリフティング	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	兵	京	
レスリング	滋	奈	和	大	兵	滋(京)	京(滋)	奈	和	大	6・7年度変更
フェンシング	京	滋	和	奈	大	京	滋	和	奈	大	兵庫(開催なし)
アーチェリー	兵	滋	和	大	奈	滋(京)	兵	京(滋)	和	大	6・8年度変更
ホッケー	兵	京	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	
空手道	大	兵	京	滋	和(奈)	奈(和)	大	兵	京	滋	5・6年度変更
ボクシング	滋	奈	和	兵	京	大	滋	奈	和	兵	
なぎなた	大	京	兵	和	滋(奈)	奈(大)	大(京)	京(兵)	兵(和)	和(奈)	5年度からの輪番を基本とする
駅伝	兵	兵	兵	兵	兵	兵	奈	奈	奈	未	R10年度以降協議中
少林寺拳法	大	兵	京	奈	和	大	兵	京	奈	和	H19から滋賀県専門部廃止
ヨット	大	兵	京	滋	奈	和	大	兵	京	滋	
カヌー	京	和	滋	奈	兵	京	和	滋	奈	兵	
ライフル射撃	奈	奈	京	滋(京)	兵(滋)	奈(滋)	京	滋	兵	奈	4・5・6年度変更
定通制	滋	奈	和	大	兵	京	滋	奈	和	大	
定通軟式野球	京	大	和	滋	奈	兵	京	大	和	滋	

※ ・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会中止

R6.2.2現在

報道各社一覽

社名	電話・FAX	所在地
朝日新聞社 大津総局	TEL 077-524-6601 FAX 077-523-1156	大津市京町3-5-12
毎日新聞社 大津支局	TEL 077-524-6655 FAX 077-526-1504	大津市打出浜3-16
産経新聞社 大津支局	TEL 077-522-6628 FAX 077-528-2311	大津市中央1-3-2
読売新聞社 大津支局	TEL 077-522-6691 FAX 077-522-6693	大津市打出浜13-1
中日新聞社 大津支局	TEL 077-523-3388 FAX 077-524-4447	大津市京町4-4-23
京都新聞社 大津支局	TEL 077-523-3131 FAX 077-522-8822	大津市京町4-3-33
日本経済新聞社 大津支局	TEL 077-522-4455 FAX 077-525-7843	大津市中央3-1-8 大津第一生命ビル8F
日本放送協会 大津放送局	TEL:077-522-5101 FAX:077-521-0785	大津市京町3-4-22
共同通信社 大津支局	TEL 077-522-3762 FAX 077-522-5882	大津市京町4-3-33
時事通信社 大津支局	TEL 077-522-3915 FAX 077-525-5867	大津市京町1-2-23
京都放送 滋賀総局	TEL 077-522-8317 FAX 077-522-8355	大津市京町4-3-33
びわ湖放送	TEL 077-524-0607 FAX 077-524-0412	大津市鶴の里16-1

※番号間違いがないようにお願いします。

○大会本部（臨時ファックス電話） FAX 077-553-7155

高体連事務局（保健体育課分室） FAX 077-535-9081

〒520-8577

滋賀県大津市京町四丁目1番1号
滋賀県教育委員会事務局 保健体育課内
電話 077-528-4621
FAX 077-535-9081
HP <https://shiga-koutairen.jp/>
E-mail shiga-koutairen@ninus.ocn.ne.jp

滋賀県高等学校体育連盟